川越市
文化芸術振興に関する意識調査
結果報告書

平成 26 年 10 月

川 越 市

目　次

Ⅰ調査概要 1

Ⅱ調査結果 2
1.文化活動の状況 2
2.「文化」のイメージ 12
3. 市の文化施策に関する意識 20
4. 今後の自らの文化活動に関する意識 31
5. 回答者の属性 33

Ⅲ資料 37
調査票 37

Ⅰ調査概要

１．調査目的

市民の文化活動の状況と「文化」に関する考え方、文化を活発にするための市の取り組み、文化活動に対する関心について市民の意見をくみ取り、今後文化芸術における施策を進める上で必要な市民のニーズを把握する。

２．調査対象

川越市全域に住む 16 歳以上の男女

３．標本数

3,000 名

４．標本選出方法

住民基本台帳に基づく無作為抽出

５．調査方法

調査票の郵送によるアンケート調査

６．調査期間

平成 26 年 7 月中旬～下旬

７．調査項目

(1)文化活動の状況
(2)「文化」のイメージ
(3)市の文化施策に関する意識
(4)今後の自らの文化活動に関する意識

８．回収結果

有効回収数：1,576 件（回収数：1,578 件うち 2 通白紙）
有効回収率：52.5%

９．報告書の見方

(1)回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で表示しています。
(2)百分率は、少数第二位を四捨五入してあるため、いくつかの回答を合わせた場合に比率が合わない場合があります。
(3)複数回答の場合には、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。
(4)作図・表の都合上、設問や回答の選択肢、数値を省略している場合があります。

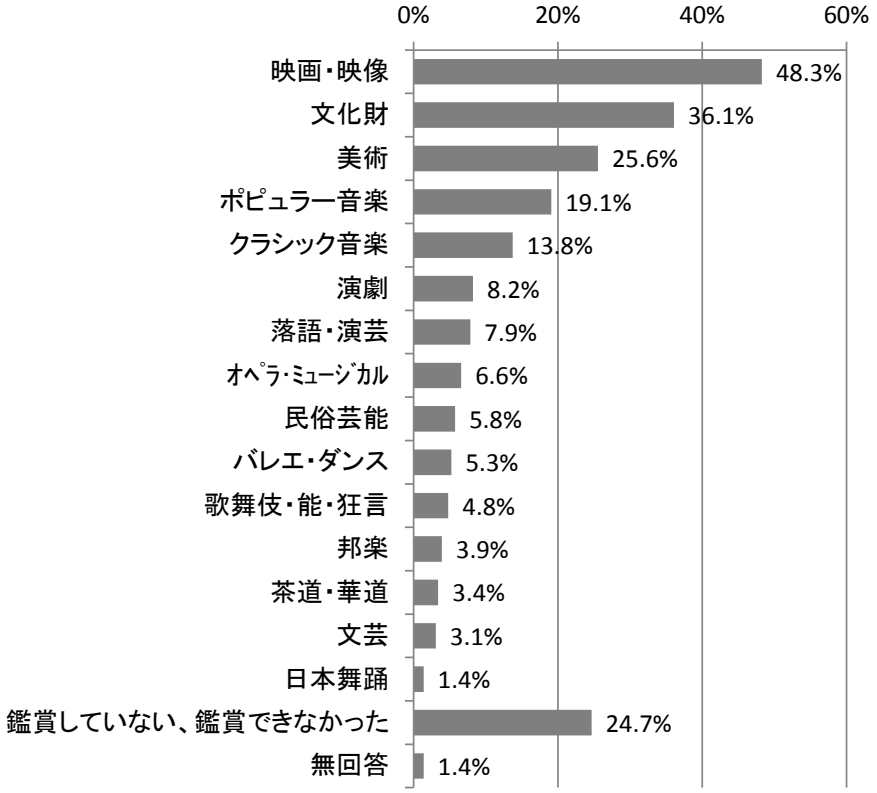
Ⅱ調査結果

１．文化活動の状況

（１）芸術鑑賞

１）最近１年間の鑑賞経験　（回答者数＝1,576）【問７：○はいくつでも】

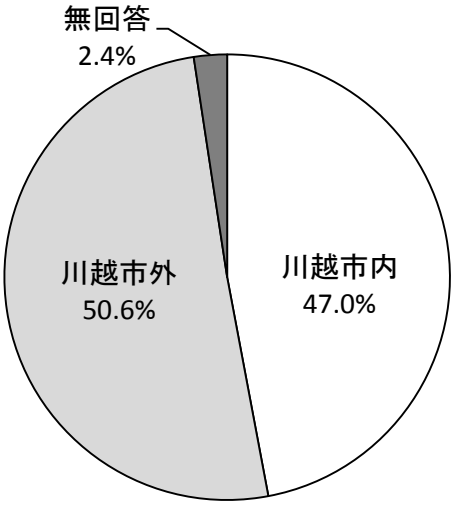
「映画・映像」という回答が 48.3%と最も多く、次いで「文化財」が 36.1%、「美術」が 25.6%となっています。また、「鑑賞していない、鑑賞できなかった」は、24.7%となっています。



項目	度数	構成比
映画・映像	761	48.3%
文化財（博物館やお祭り会館の見学を含む）	569	36.1%
美術	403	25.6%
ポピュラー音楽	301	19.1%
クラシック音楽	217	13.8%
演劇	130	8.2%
落語・演芸	124	7.9%
ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	104	6.6%
民俗芸能	91	5.8%
バレエ・ダンス	83	5.3%
歌舞伎・能・狂言	76	4.8%
邦楽	62	3.9%
茶道・華道	54	3.4%
文芸	49	3.1%
日本舞踊	22	1.4%
鑑賞していない、鑑賞できなかった	389	24.7%
無回答	22	1.4%
回答者数	1,576	

2）最近１年間の鑑賞経験がある人が、最も多く鑑賞した場所（回答者数＝1,165）【問８：1つに○】

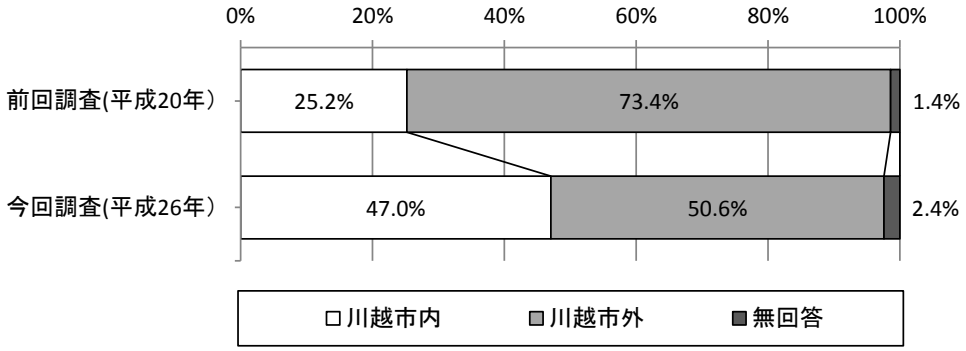
「川越市外」という回答が 50.6%と最も多く、「川越市内」が 47.0%となっており、ほぼ半々の割合となっています。



項目	度数	構成比
川越市内	548	47.0%
川越市外	589	50.6%
無回答	28	2.4%
回答者数	1,165	100.0%
非該当	411	

３）鑑賞した場所についての前回比較（前回調査回答者数＝1,008）

前回より「川越市内」が、21.8 ポイント増加し、「川越市外」は減少しており、市内で芸術鑑賞をしている方が増加しています。

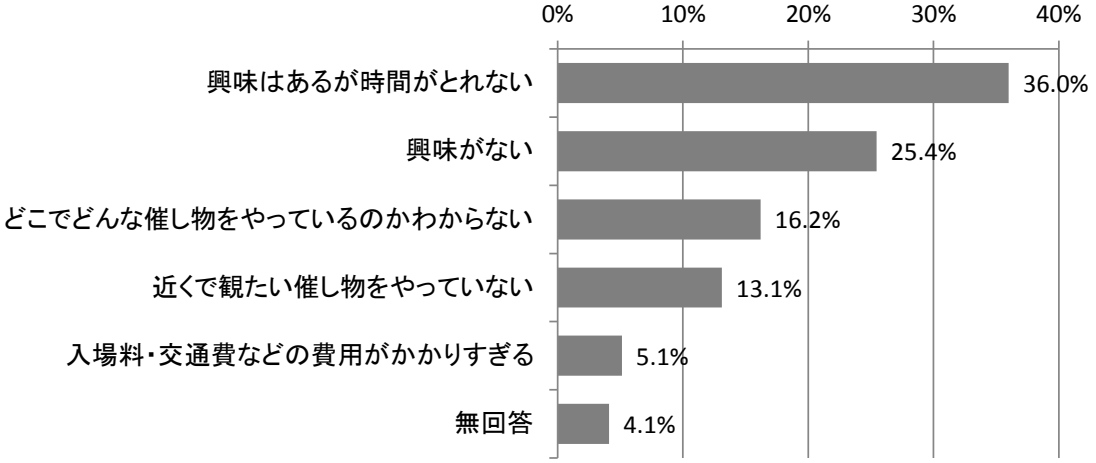


※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

4）最近１年間の鑑賞の経験のない人が、『鑑賞していない・できなかった』理由（回答者数＝389）

【問９：１つに○】

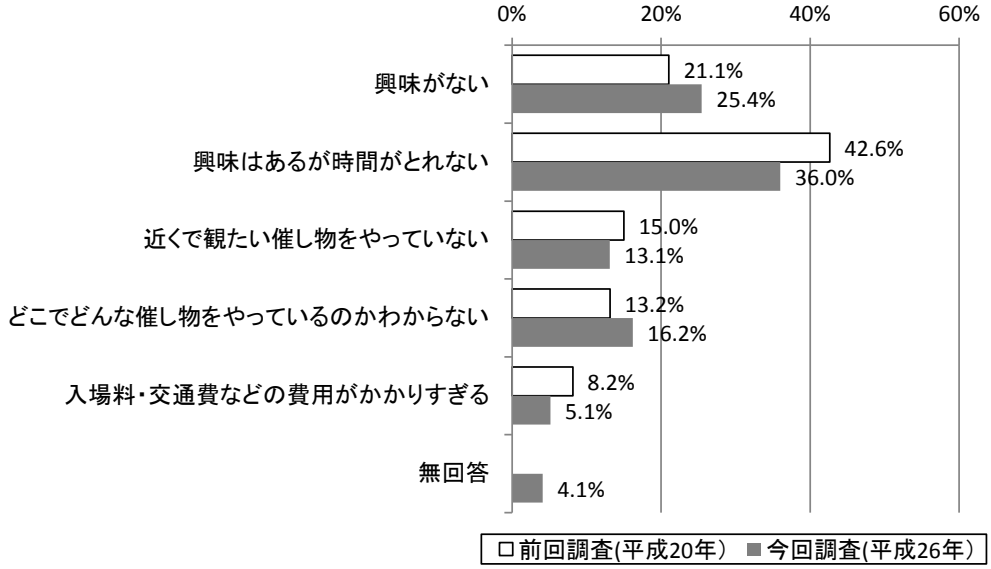
鑑賞しなかった理由としては、「興味はあるが時間がとれない」の回答が 36.0%と最も多く、次いで「興味がない」が 25.4%、「どこでどんな催し物をやっているのかわからない」が 16.2%となっています。



項目	度数	構成比
興味はあるが時間がとれない	140	36.0%
興味がない	99	25.4%
どこでどんな催し物をやっているのかわからない	63	16.2%
近くで観たい催し物をやっていない	51	13.1%
入場料・交通費などの費用がかかりすぎる	20	5.1%
無回答	16	4.1%
回答者数	389	100.0%
非該当	1,187	

5）『鑑賞していない・できなかった』理由の前回比較（前回調査回答者数＝1,008）

前回より「興味がない」が、4.3 ポイント増加し、「興味はあるが時間がとれない」が、6.6 ポイント減少しており、「興味がない」と「興味はあるが時間がとれない」の差が少なくなっています。



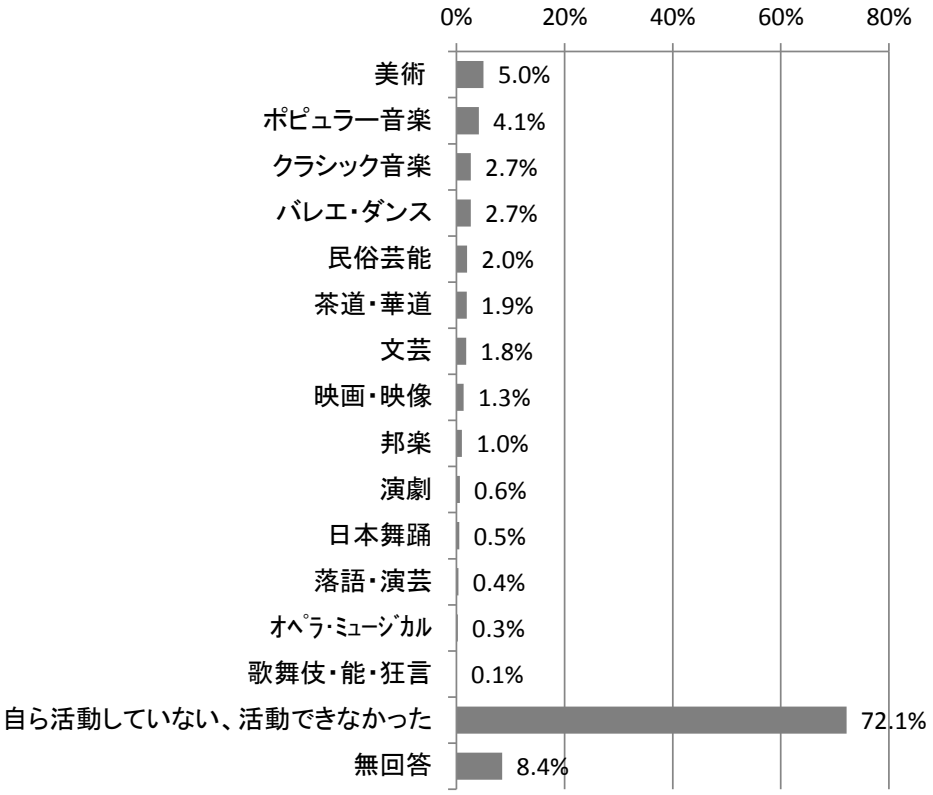
※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含まない）

（2）自らの文化活動

1）最近1年間の文化活動経験（回答者数＝1,576）【問10：○はいくつでも】

文化活動経験においては、「自ら活動していない、活動できなかった」の回答が72.1%と最も多く、7割以上の方が活動していないと回答しています。

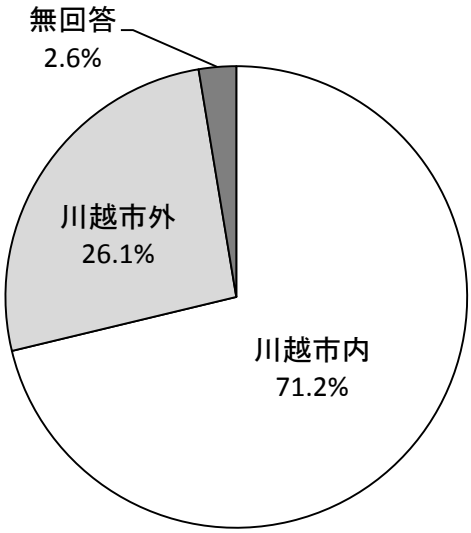
また、活動している方では、「美術（5.0%）」、「ポピュラー音楽（4.1%）」、「クラシック音楽（2.7%）」「バレエ・ダンス（2.7%）」となっています。



項目	度数	構成比
美術	79	5.0%
ポピュラー音楽	65	4.1%
クラシック音楽	42	2.7%
バレエ・ダンス	42	2.7%
民俗芸能	31	2.0%
茶道・華道	30	1.9%
文芸	28	1.8%
映画・映像	21	1.3%
邦楽	16	1.0%
演劇	10	0.6%
日本舞踊	8	0.5%
落語・演芸	6	0.4%
ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	4	0.3%
歌舞伎・能・狂言	1	0.1%
自ら活動していない、活動できなかった	1,137	72.1%
無回答	133	8.4%
回答者数	1,576	

２）活動経験がある人が、最も多く文化活動を行った場所（回答者数＝306）【問 11：1 つに○】

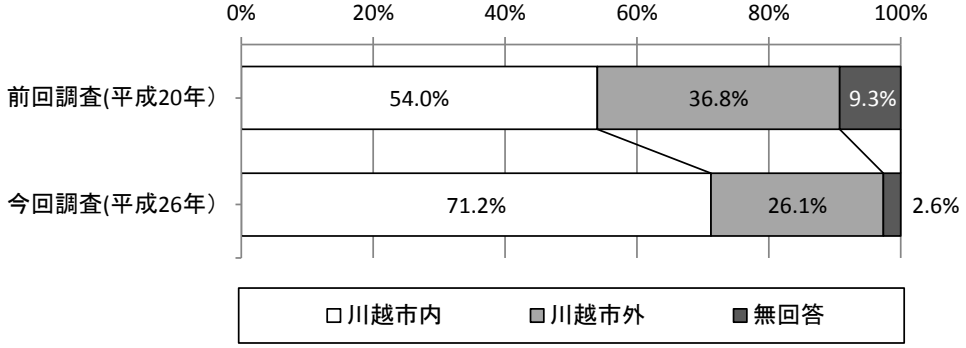
文化活動を行った場所は、「川越市内」が 71.2%と約 7 割となっています。また「川越市外」は 26.1%となっています。



項目	度数	構成比
川越市内	218	71.2%
川越市外	80	26.1%
無回答	8	2.6%
回答者数	306	100.0%
非該当	1,270	

３）文化活動を行った場所についての前回比較（前回調査回答者数＝378）

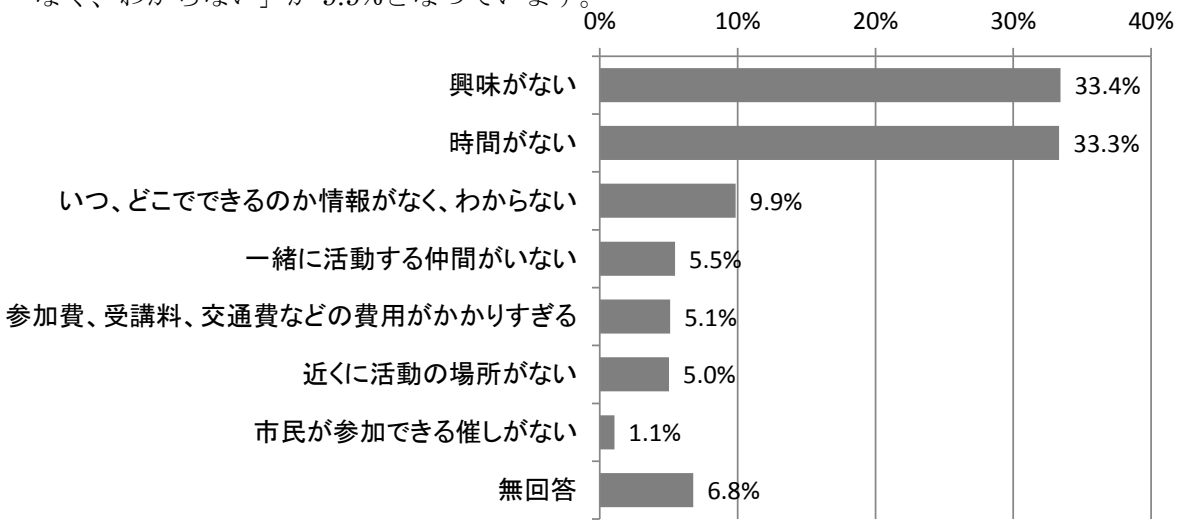
前回より「川越市内」が、17.2 ポイント増加し、「川越市外」は減少しており、市内で文化活動を行っている方が増えています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

４）活動経験がない人が、文化活動を行わなかった理由（回答者数＝1,137）【問 12：1 つに○】

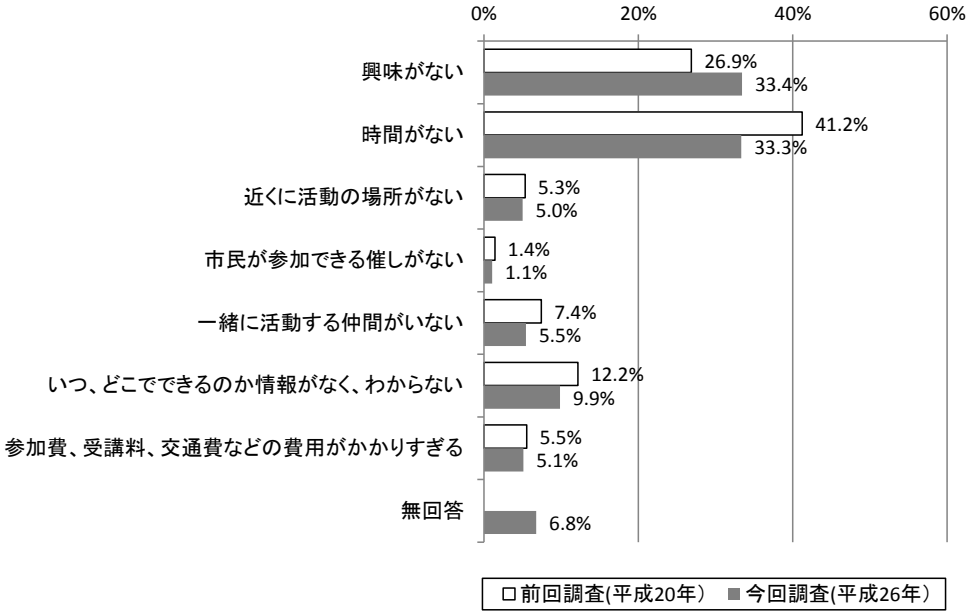
１）で『自ら活動していない、活動できなかった』と回答した方の理由は、「興味がない」が 33.4%、「時間がない」が 33.3%とそれぞれ 3 割以上となっています。次いで「いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない」が 9.9%となっています。



項目	度数	構成比
興味がない	380	33.4%
時間がない	379	33.3%
いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない	112	9.9%
一緒に活動する仲間がいない	62	5.5%
参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる	58	5.1%
近くに活動の場所がない	57	5.0%
市民が参加できる催しがない	12	1.1%
無回答	77	6.8%
回答者数	1,137	100.0%
非該当	439	

５）文化活動を行わなかった理由の前回比較（前回調査回答者数＝994）

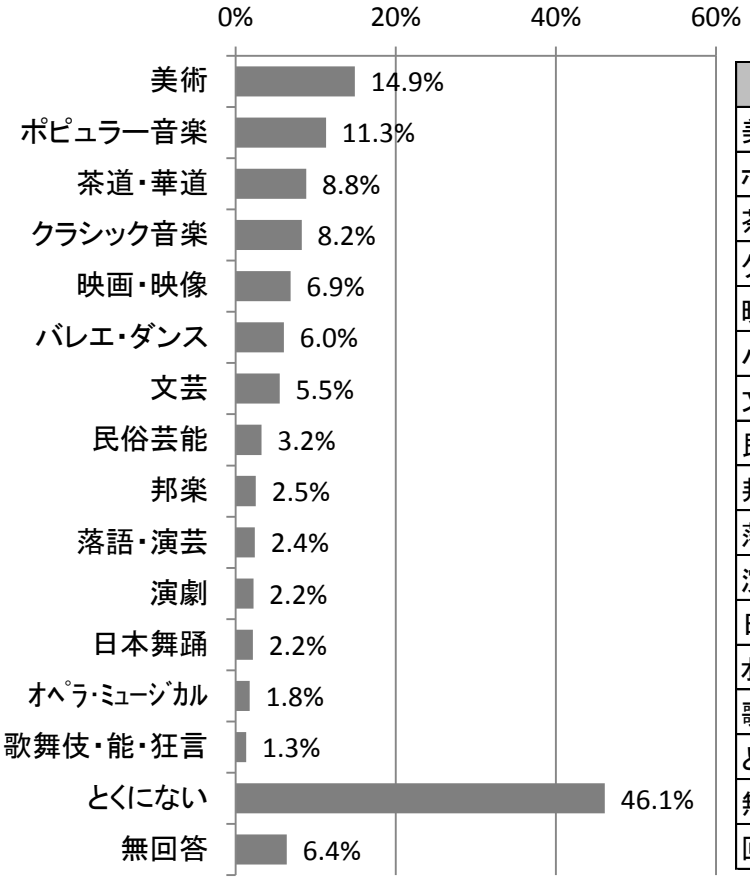
前回より「興味がない」が、6.5 ポイント増加し、「時間がない」が、7.9 ポイント減少しており、「興味がない」と「時間がない」の差がなくなっています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含まない）

6）今後、自ら活動したい演目（回答者数＝1,576）【問 13：○はいくつでも】

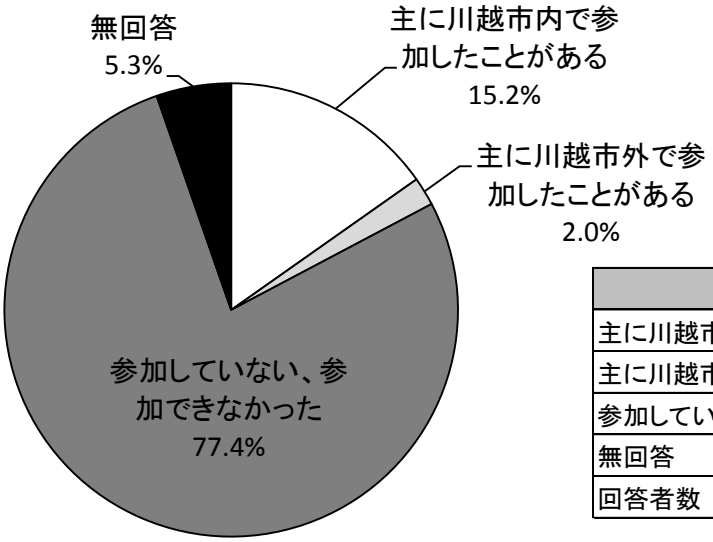
今後活動してみたい演目は、「とくにない」が 46.1%と最も多くなっていますが、活動したい演目は「美術」14.9%、「ポピュラー音楽」11.3%となっています。



項目	度数	構成比
美術	235	14.9%
ポピュラー音楽	178	11.3%
茶道・華道	139	8.8%
クラシック音楽	130	8.2%
映画・映像	108	6.9%
バレエ・ダンス	95	6.0%
文芸	87	5.5%
民俗芸能	51	3.2%
邦楽	40	2.5%
落語・演芸	38	2.4%
演劇	35	2.2%
日本舞踊	34	2.2%
ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	28	1.8%
歌舞伎・能・狂言	21	1.3%
とくにない	727	46.1%
無回答	101	6.4%
回答者数	1,576	

（3）文化財・歴史的遺産の保存活用活動への参加（回答者数＝1,576）【問 14：1 つに○】

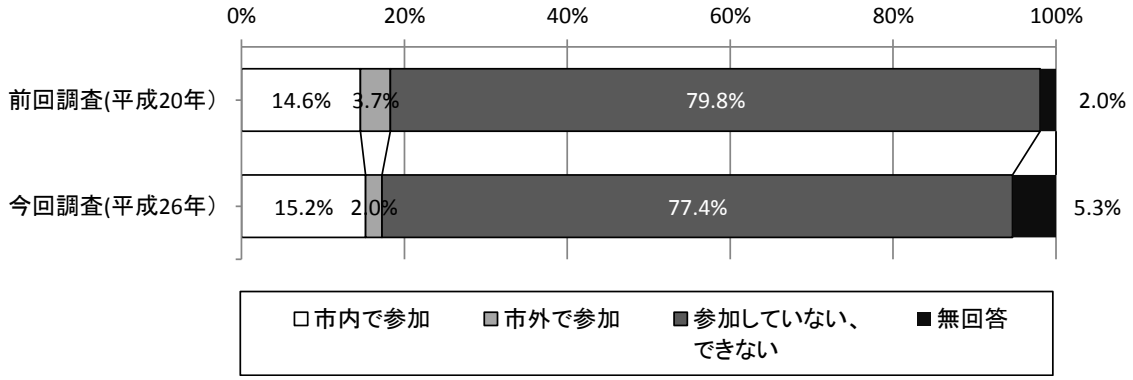
1）文化財・歴史的遺産の保存活用活動への参加経験では、「参加していない、参加できなかった」が 77.4%で 8 割弱となっています。また、「主に川越市内で参加したことがある」は 15.2%、「主に川越市外で参加したことがある」は 2.0%となっています。



項目	度数	構成比
主に川越市内で参加したことがある	240	15.2%
主に川越市外で参加したことがある	32	2.0%
参加していない、参加できなかった	1,220	77.4%
無回答	84	5.3%
回答者数	1,576	100.0%

２）参加経験や参加した場所についての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

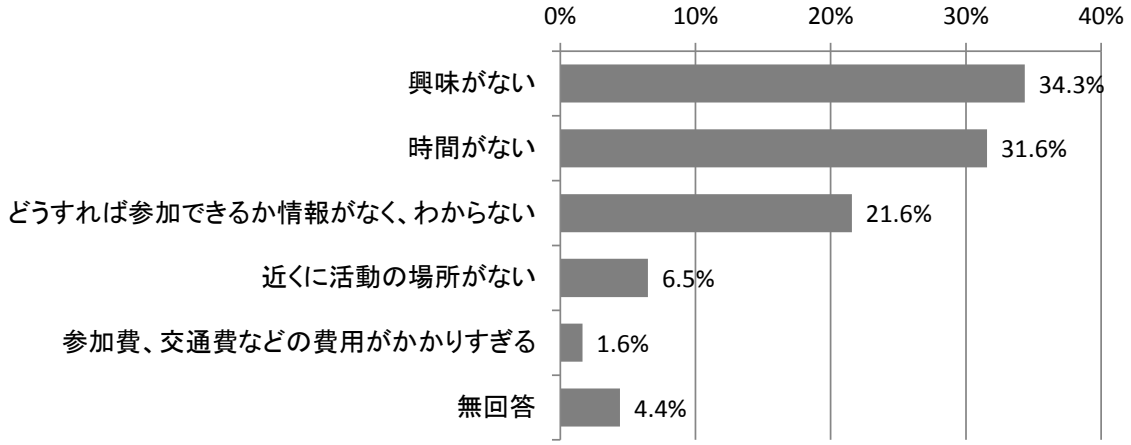
『参加経験と参加した場所』については、前回より「市内での参加」が、僅かに増加し、「市外での参加」が僅かに減少していますが、ほぼ同様の結果となっています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

３）参加経験のない人が参加しなかった理由(回答者数＝1,220)【問 15：1 つに○】

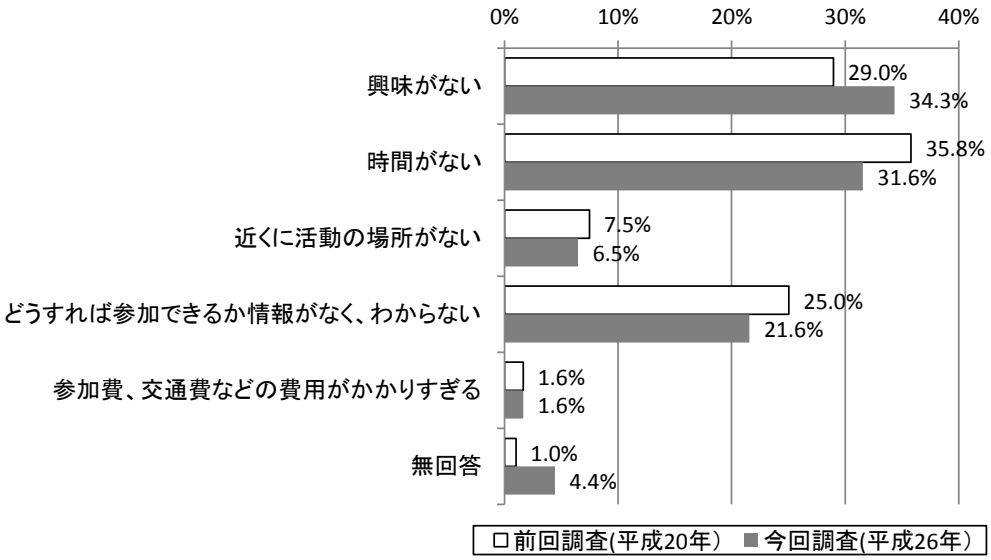
1)で『参加していない、参加できなかった』と回答した方の理由は、「興味がない」34.3%、「時間がない」31.6%と多く、次いで「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」が 21.6%となっています。



項目	度数	構成比
興味がない	419	34.3%
時間がない	385	31.6%
どうすれば参加できるか情報がなく、わからない	263	21.6%
近くに活動の場所がない	79	6.5%
参加費、交通費などの費用がかかりすぎる	20	1.6%
無回答	54	4.4%
回答者数	1,220	100.0%
非該当	356	

４）参加しなかった理由の前回比較（前回調査回答者数＝1,098）

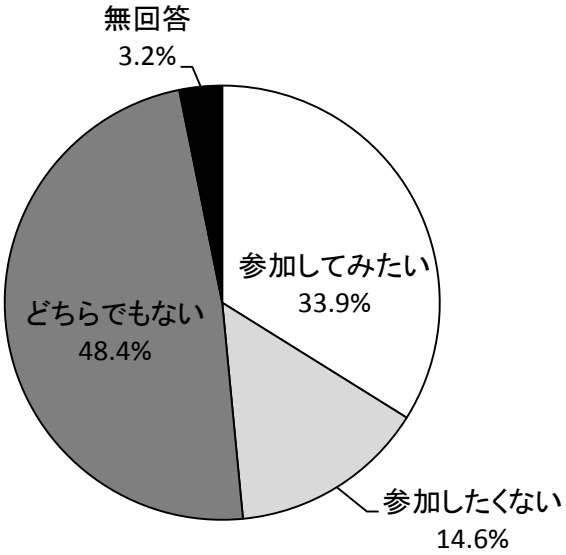
前回より「興味がない」が、5.3 ポイント増加し、「時間がない」が、4.2 ポイント減少しており、「興味がない」と「時間がない」の順位が逆転しており、文化活動を行わなかった理由と同様の結果となっています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答含む）

５）今後、保存活用活動に参加したいか(回答者数＝1,576）【問 16：1 つに○】

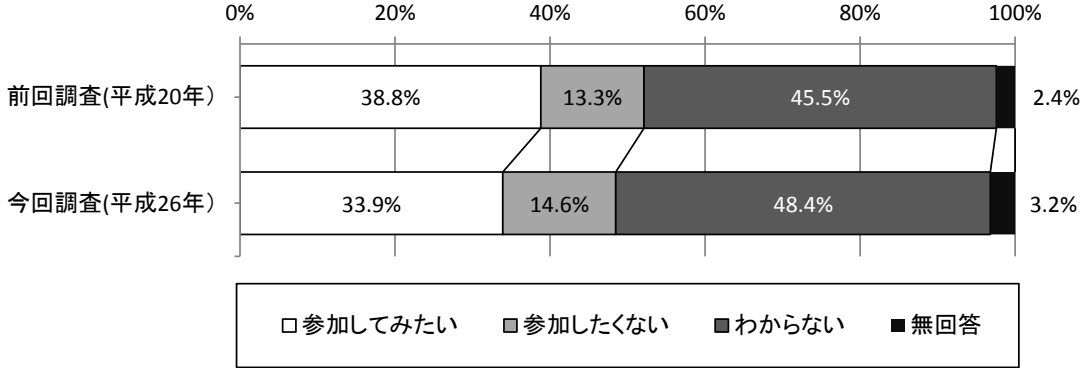
「どちらでもない」が 48.4%と多く、「参加してみたい」が 33.9%、「参加したくない」14.6%となっています。



項目	度数	構成比
参加してみたい	534	33.9%
参加したくない	230	14.6%
どちらでもない	762	48.4%
無回答	50	3.2%
回答者数	1,576	100.0%

６）今後の保存活用活動の参加についての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

『保存活用活動の今後の参加』については、前回より「参加してみたい」が 4.9 ポイント減少し、「わからない」が 2.9 ポイント増加していますが、ほぼ同様の結果となっています。

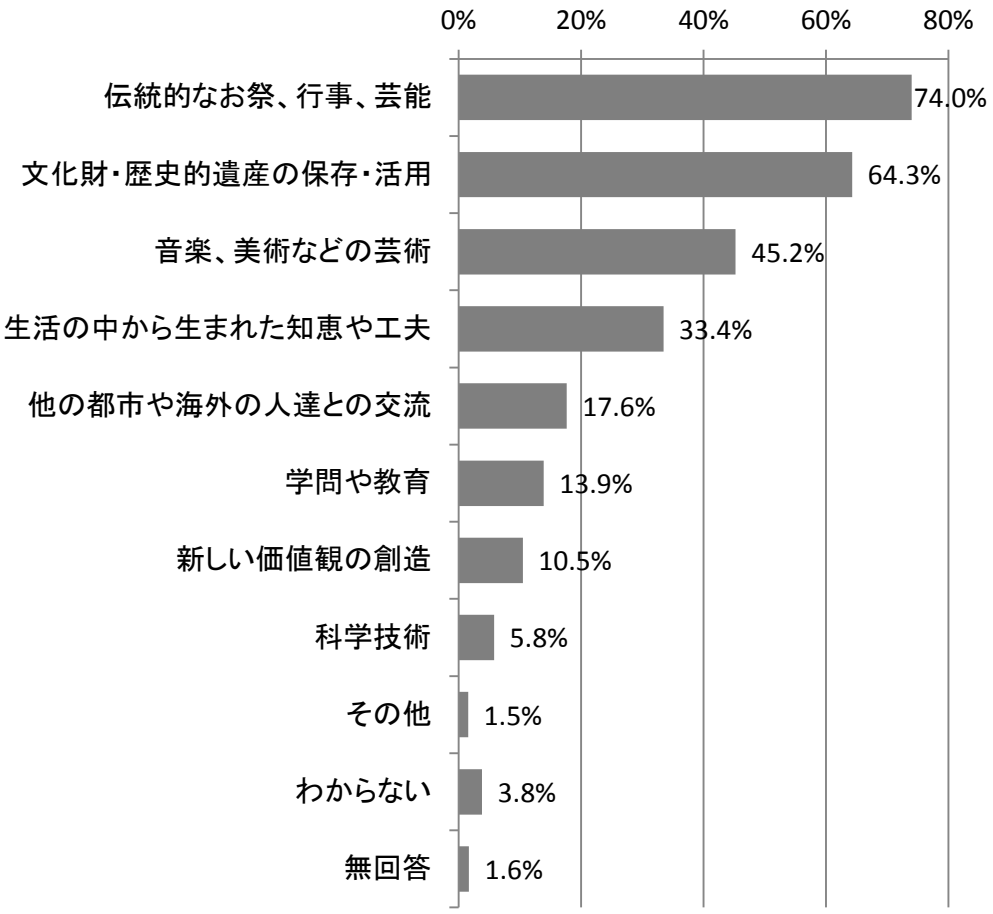


※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

２．「文化」のイメージ

（１）「文化」という言葉に対する言葉のイメージ(回答者数＝1,576)【問 17：○はいくつでも】

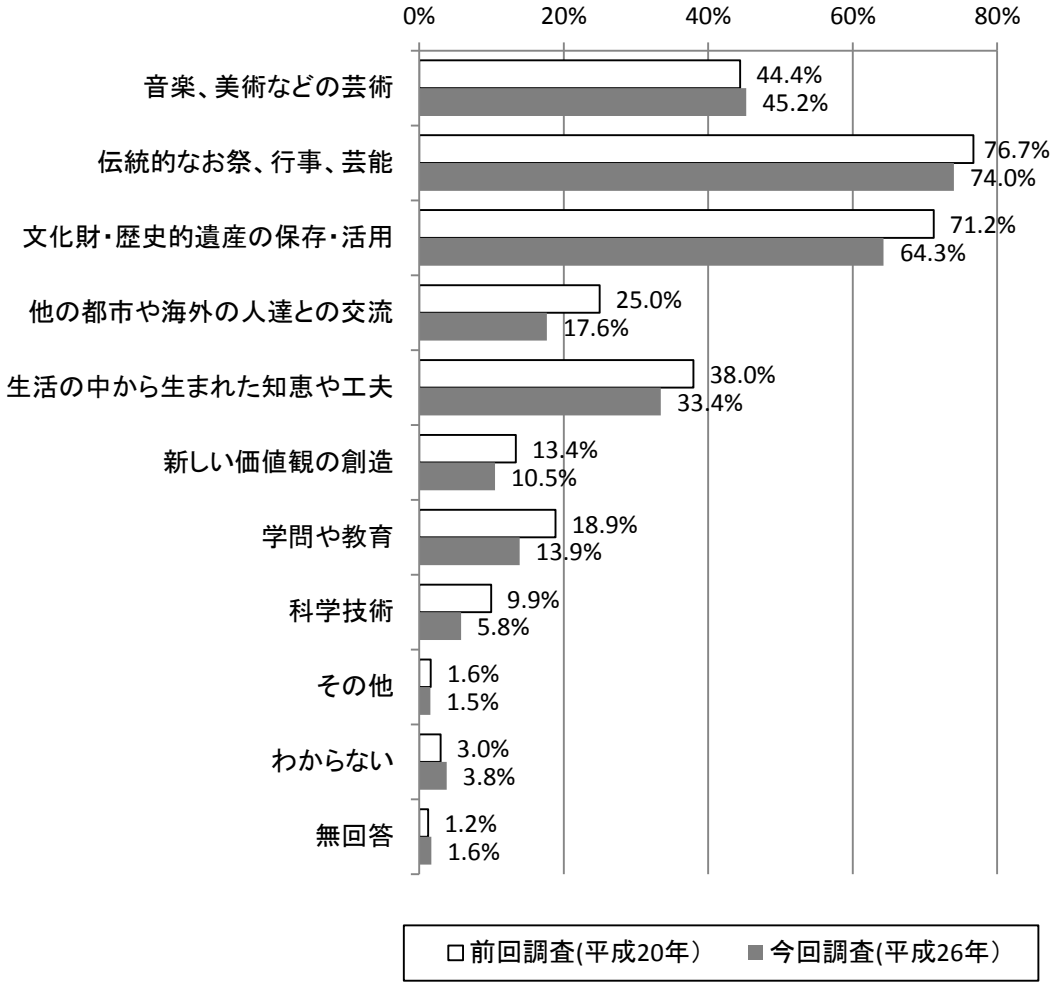
『文化のイメージ』については、「伝統的なお祭り、行事、芸能」が 74.0%と最も多く、次いで「文化財・歴史的遺産の保存・活用」の 64.3%、「音楽、美術などの芸術」の 45.2%となっています。



項目	度数	構成比
伝統的なお祭、行事、芸能	1,166	74.0%
文化財・歴史的遺産の保存・活用	1,013	64.3%
音楽、美術などの芸術	713	45.2%
生活の中から生まれた知恵や工夫	527	33.4%
他の都市や海外の人達との交流	278	17.6%
学問や教育	219	13.9%
新しい価値観の創造	165	10.5%
科学技術	91	5.8%
その他	24	1.5%
わからない	60	3.8%
無回答	26	1.6%
回答者数	1,576	

２）文化のイメージについての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

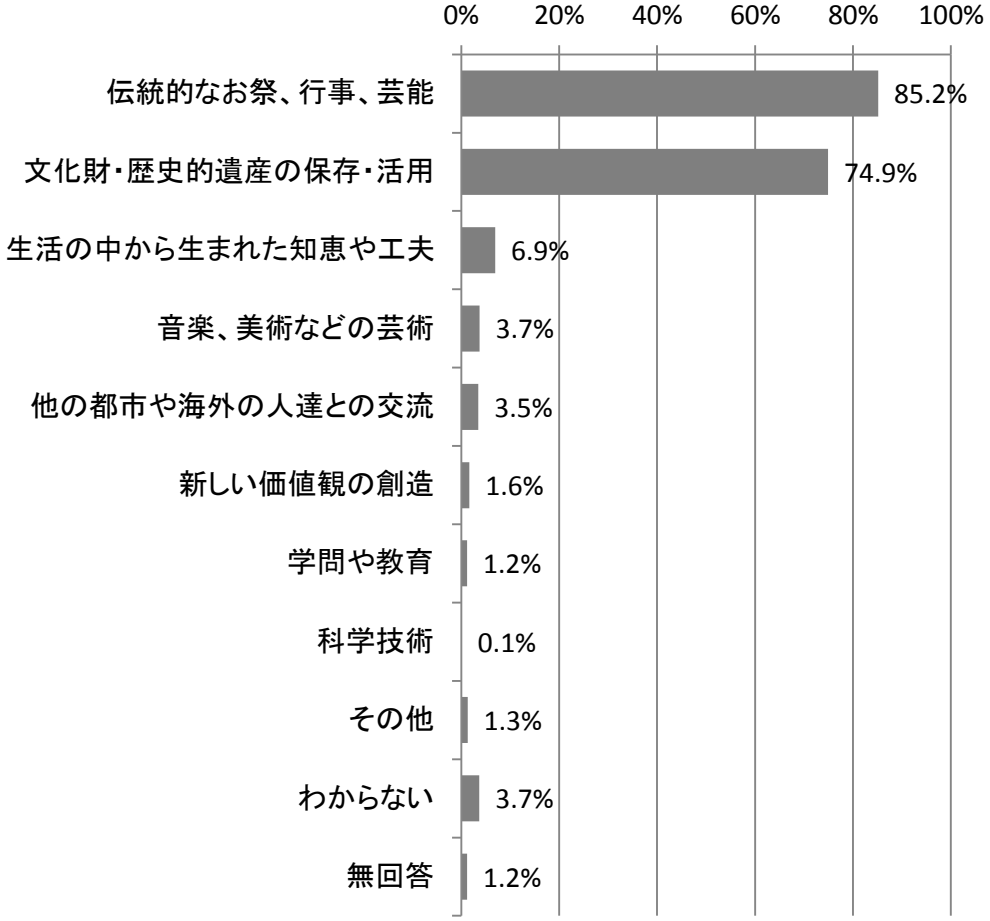
『文化のイメージ』については、「文化財・歴史的遺産の保存・活用」、「他の都市や海外の人たちとの交流」で 7 ポイント前後の減少が見られます。また、「音楽、美術などの芸術」が僅かですが増加しています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

（２）「川越の文化」という言葉に対するイメージ(回答者数＝1,576)　【問 18：2 つに〇】

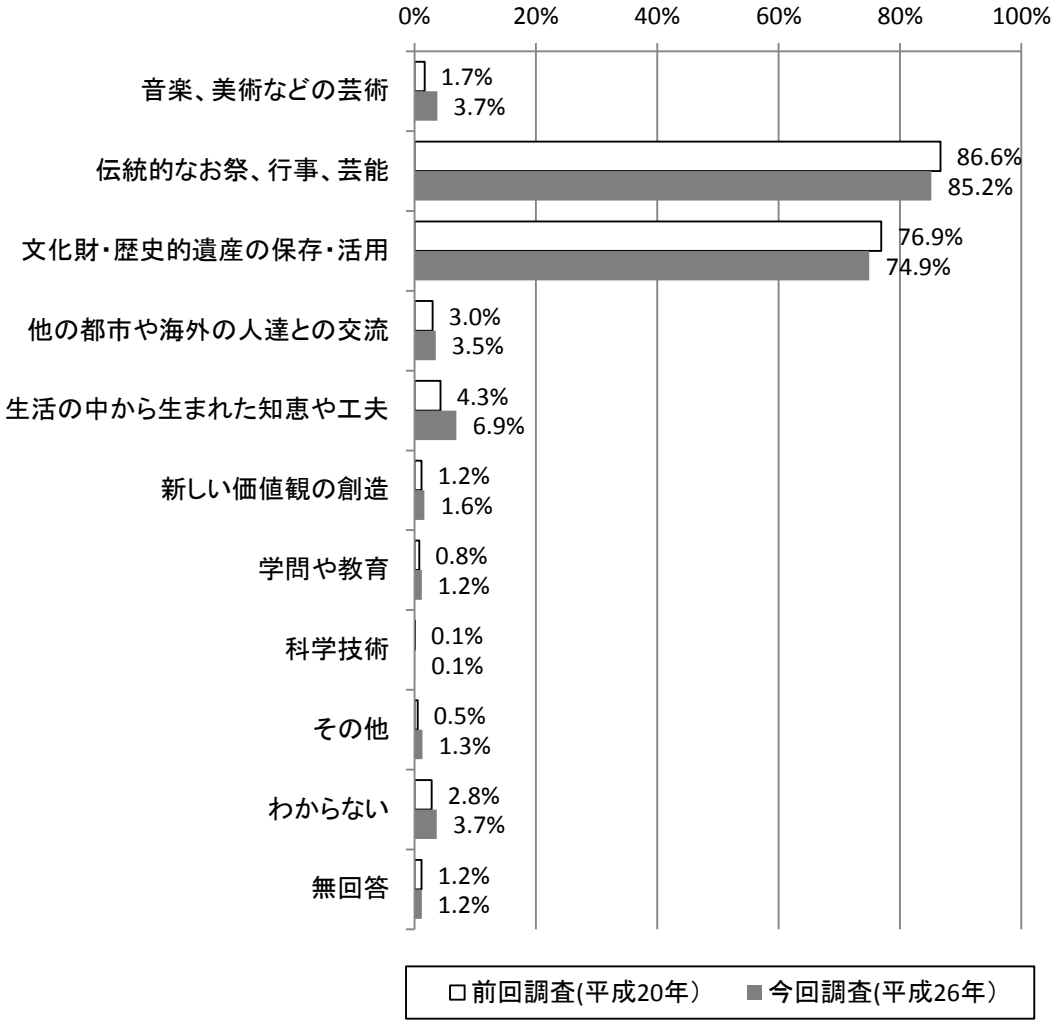
『川越の文化のイメージ』では、「伝統的なお祭り、行事、芸能」が 85.2%で 8 割以上と最も多く、次いで「文化財・歴史的遺産の保存・活用」が 74.9%となっており、他項目との差が顕著となっております。



項目	度数	構成比
伝統的なお祭、行事、芸能	1,342	85.2%
文化財・歴史的遺産の保存・活用	1,181	74.9%
生活の中から生まれた知恵や工夫	109	6.9%
音楽、美術などの芸術	59	3.7%
他の都市や海外の人達との交流	55	3.5%
新しい価値観の創造	26	1.6%
学問や教育	19	1.2%
科学技術	2	0.1%
その他	21	1.3%
わからない	58	3.7%
無回答	19	1.2%
回答者数	1,576	

２）川越の文化のイメージについての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

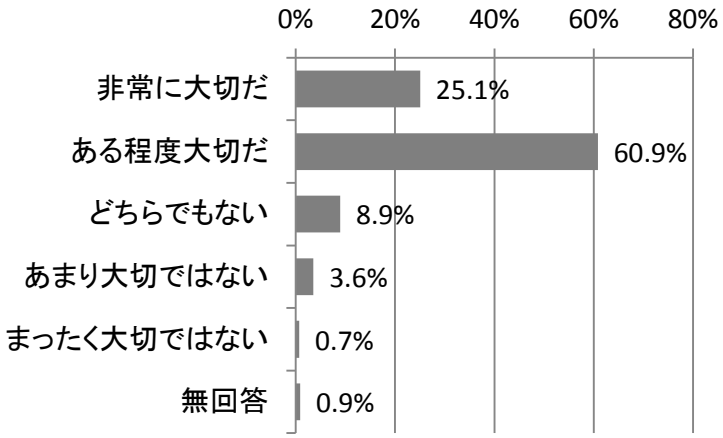
『川越の文化のイメージ』については、前回より「文化財・歴史的遺産の保存・活用」、「伝統的なお祭り、行事、芸能」で僅かに減少が見られます。また、「音楽、美術などの芸術」、「他の都市や海外の人たちとの交流」、「生活の中から生まれた知恵や工夫」が僅かですが増加していますが、全体的には同様の傾向が見られます。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

（３）芸術鑑賞、文化活動の重要性（回答者数＝1,576）【問 19：1 つに○】

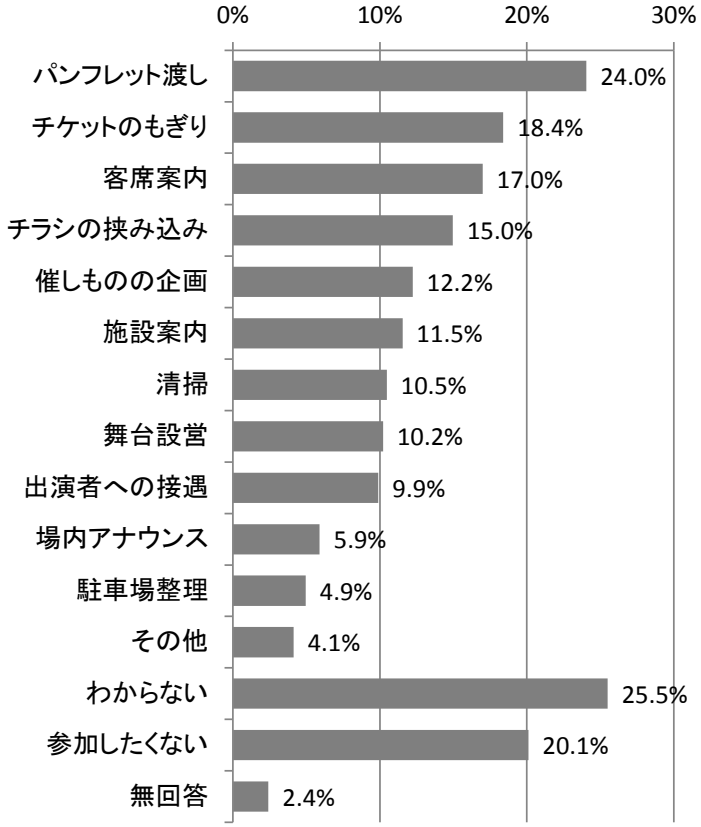
『芸術鑑賞や文化活動が重要だと思うか』では、「ある程度大切だ」という回答が 60.9%と最も多く、「非常に大切だ（25.1%）」と合わせると 86.0%と 8 割以上となっています。また、「あまり大切でない（3.6%）」、「まったく大切でない（0.7%）」を合わせると 4.3%となっています。



項目	度数	構成比
非常に大切だ	395	25.1%
ある程度大切だ	959	60.9%
どちらでもない	141	8.9%
あまり大切ではない	56	3.6%
まったく大切ではない	11	0.7%
無回答	14	0.9%
回答者数	1,576	100.0%

（４）舞台公演等のボランティアスタッフへの参加（回答者数＝1,576）【問 20：○はいくつでも】

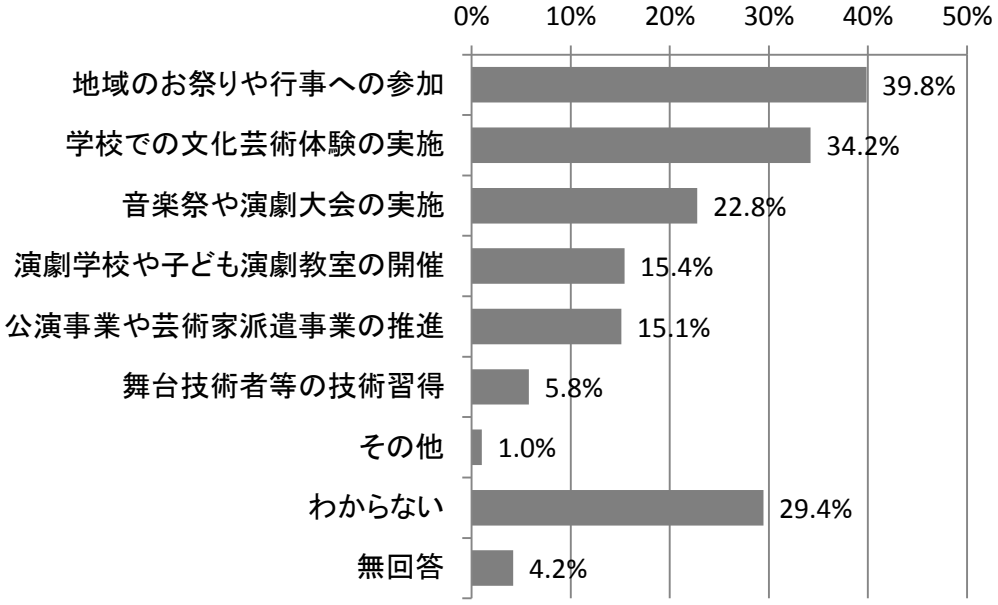
「わからない」という回答が 25.5%と最も多く、「参加したくない」も 20.1%となっています。一方、参加する場合は、「パンフレット渡し」が 24.0%、「チケットのもぎり」が 18.4%、「客席案内」が 17.0%となっています。



項目	度数	構成比
パンフレット渡し	379	24.0%
チケットのもぎり	290	18.4%
客席案内	268	17.0%
チラシの挟み込み	236	15.0%
催しものの企画	193	12.2%
施設案内	182	11.5%
清掃	165	10.5%
舞台設営	161	10.2%
出演者への接遇	156	9.9%
場内アナウンス	93	5.9%
駐車場整理	78	4.9%
その他	65	4.1%
わからない	402	25.5%
参加したくない	317	20.1%
無回答	38	2.4%
回答者数	1,576	

（５）制作体験型事業のイメージ（回答者数＝1,576）【問 21：○はいくつでも】

『制作体験型事業のイメージ』では、「地域のお祭りや行事への参加」が 39.8%と最も多く、次いで「学校での文化芸術体験の実施」が 34.2%、「音楽祭や演劇大会の実施」が 22.8%となっています。また、「わからない」が 29.4%となっています。

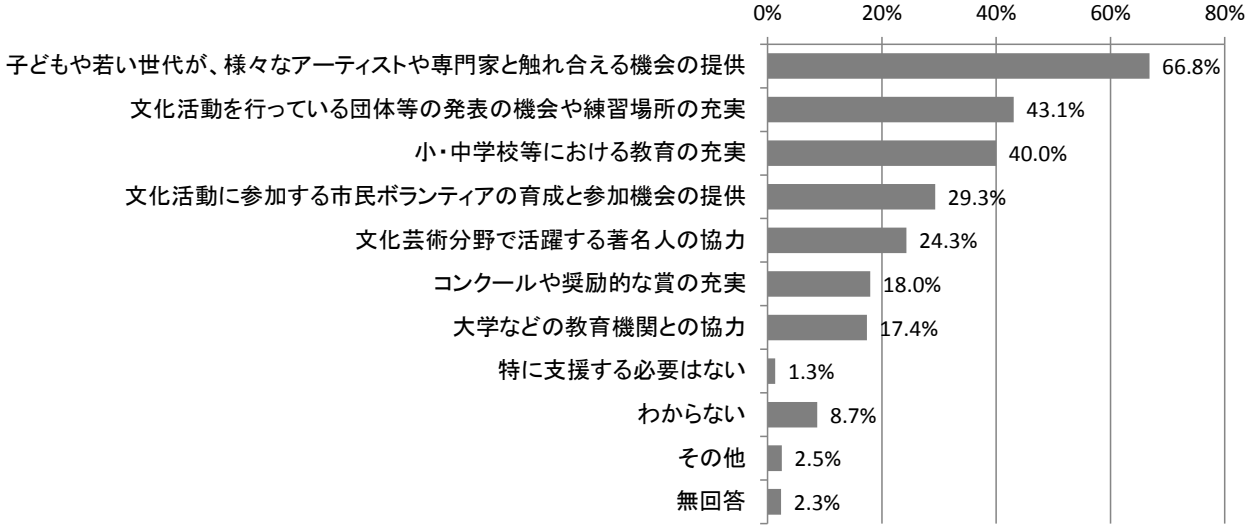


項目	度数	構成比
地域のお祭りや行事への参加	628	39.8%
学校での文化芸術体験の実施	539	34.2%
音楽祭や演劇大会の実施	359	22.8%
演劇学校や子ども演劇教室の開催	243	15.4%
公演事業や芸術家派遣事業の推進	238	15.1%
舞台技術者等の技術習得	91	5.8%
その他	16	1.0%
わからない	464	29.4%
無回答	66	4.2%
回答者数	1,576	

（6）芸術家や文化に関わる人を育てたり支援するために必要なこと（回答者数＝1,576）

【問 22：○はいくつでも】

「子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会の提供」という回答が 66.8%と最も多く、次いで「文化活動を行っている団体等の発表の機会や練習場所の充実」が 43.1%、「小・中学校等における教育の充実」が 40.0%となっています。

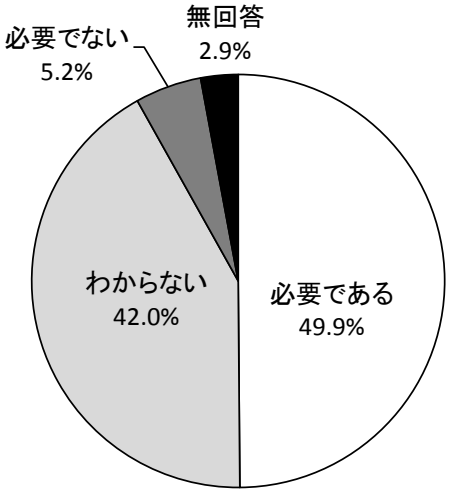


項目	度数	構成比
子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会の提供	1,053	66.8%
文化活動を行っている団体等の発表の機会や練習場所の充実	679	43.1%
小・中学校等における教育の充実	630	40.0%
文化活動に参加する市民ボランティアの育成と参加機会の提供	462	29.3%
文化芸術分野で活躍する著名人の協力	383	24.3%
コンクールや奨励的な賞の充実	283	18.0%
大学などの教育機関との協力	274	17.4%
特に支援する必要はない	21	1.3%
わからない	137	8.7%
その他	39	2.5%
無回答	37	2.3%
回答者数	1,576	

（7）市内芸術家等への支援制度について

1） 市内芸術家等への支援制度の必要性（回答者数＝1,576）【問 23：1 つに○】

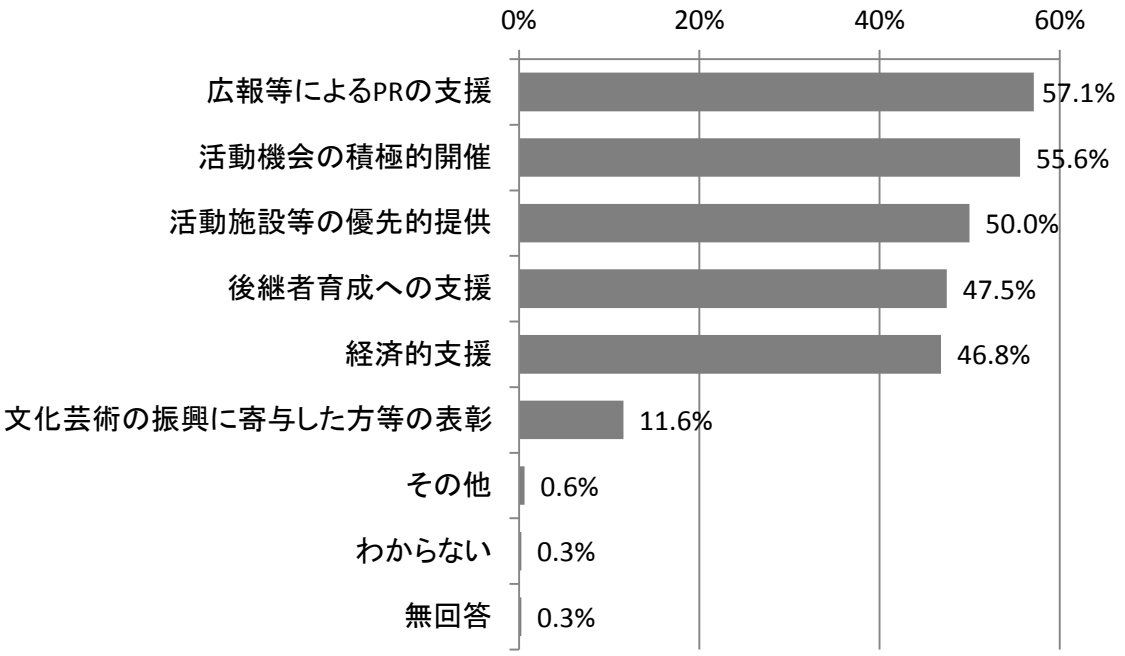
「必要である」という回答が 49.9%と多く、「わからない」が 42.0%、「必要でない」が 5.2%となっています。



項目	度数	構成比
必要である	786	49.9%
わからない	662	42.0%
必要でない	82	5.2%
無回答	46	2.9%
回答者数	1,576	100.0%

２）市内芸術家へ必要な支援の内容（回答者数＝786）【問 24：○はいくつでも】

１）で支援制度は、『必要である』と回答した方では、「広報等による PR の支援」という回答が 57.1%と多く、次いで「活動機会の積極的開催」が 55.6%、「活動施設等の優先的提供」が 50.0%といずれも 5 割以上となっています。

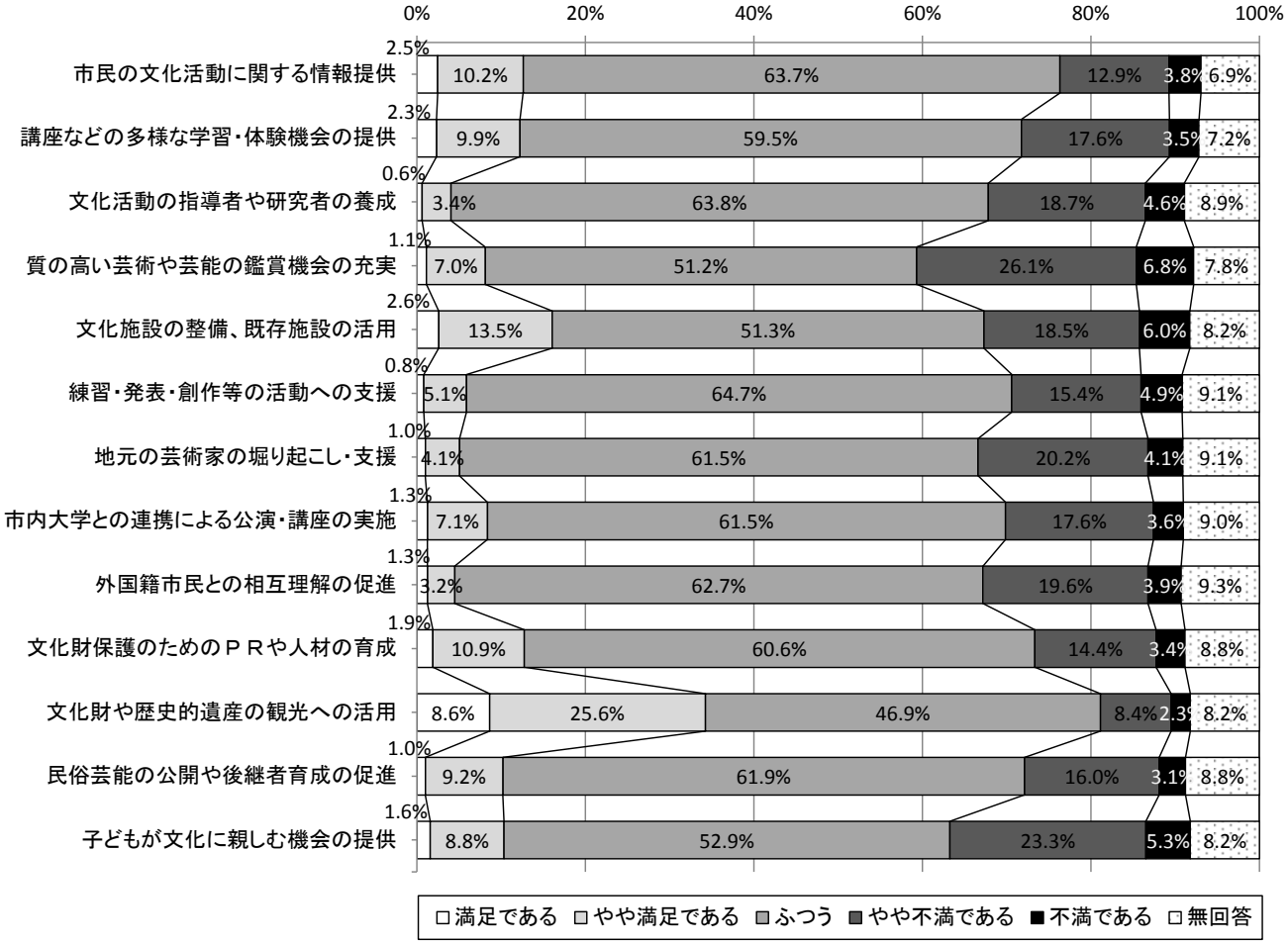


項目	度数	構成比
広報等によるPRの支援	449	57.1%
活動機会の積極的開催	437	55.6%
活動施設等の優先的提供	393	50.0%
後継者育成への支援	373	47.5%
経済的支援	368	46.8%
文化芸術の振興に寄与した方等の表彰	91	11.6%
その他	5	0.6%
わからない	2	0.3%
無回答	2	0.3%
回答者数	786	
非該当	790	

３．市の文化施策に関する意識

（１）①市の各施策に対する満足度(回答者数＝1,576)【問 25：それぞれ項目１つに○】

満足度については、いずれも「ふつう」が多くなっています。「満足である」、「やや満足である」を合わせると「文化財や歴史的遺産の観光への活用」が 34.2%と最も多く、一方「不満である」「やや不満足である」を合わせると「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」が 32.9%と多くなっています。



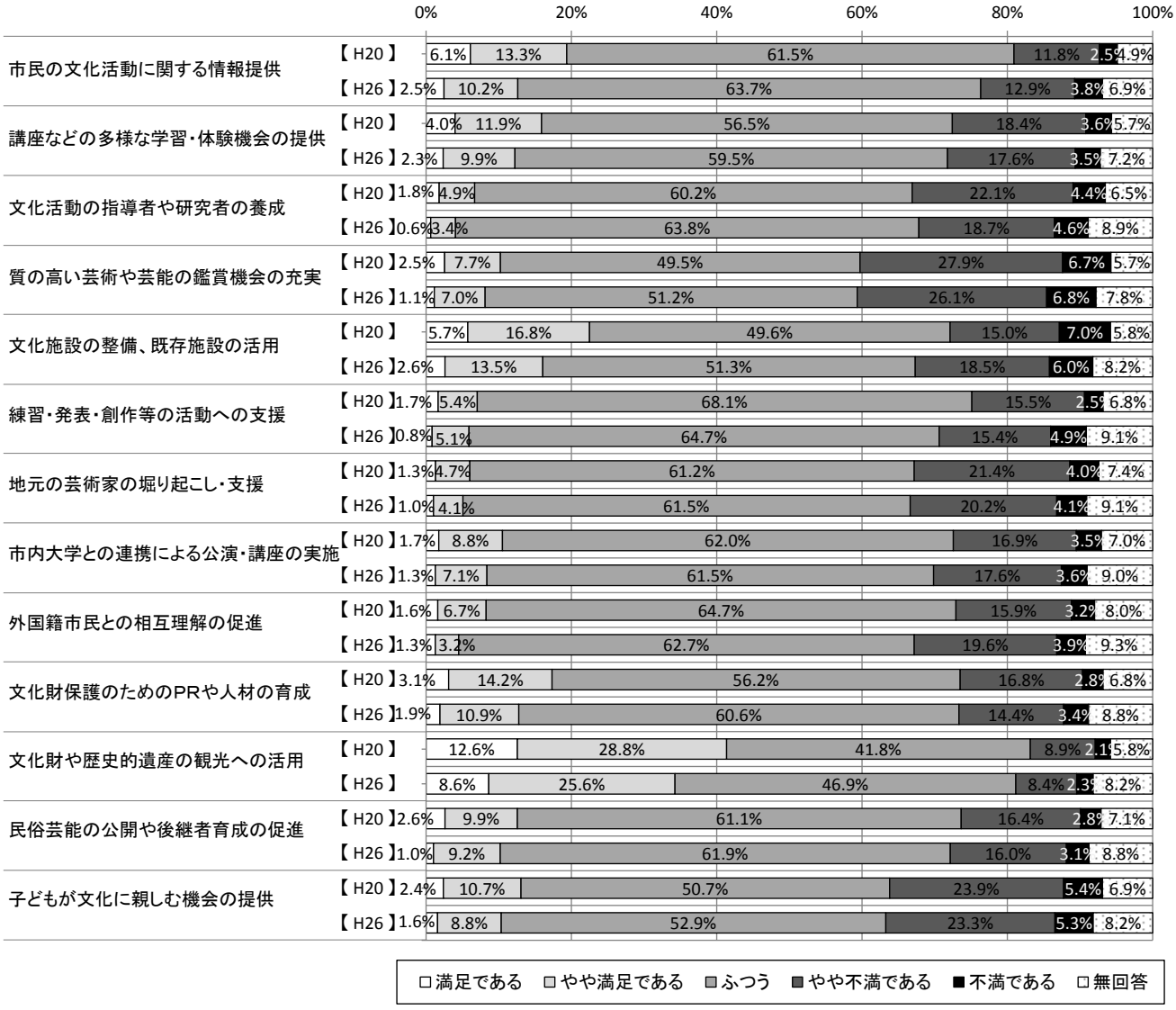
項目	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である	無回答	合計
市民の文化活動に関する情報提供	39	160	1,004	204	60	109	1,576
講座などの多様な学習・体験機会の提供	37	156	938	277	55	113	1,576
文化活動の指導者や研究者の養成	10	54	1,005	294	73	140	1,576
質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	18	110	807	411	107	123	1,576
文化施設の整備、既存施設の活用	41	212	808	291	94	130	1,576
練習・発表・創作等の活動への支援	13	80	1,020	242	77	144	1,576
地元の芸術家の堀り起こし・支援	16	64	970	318	65	143	1,576
市内大学との連携による公演・講座の実施	20	112	969	277	56	142	1,576
外国籍市民との相互理解の促進	20	51	988	309	62	146	1,576
文化財保護のためのPRや人材の育成	30	171	955	227	54	139	1,576
文化財や歴史的遺産の観光への活用	136	404	739	132	36	129	1,576
民俗芸能の公開や後継者育成の促進	16	145	976	252	49	138	1,576
子どもが文化に親しむ機会の提供	25	138	834	367	83	129	1,576

項目（構成比）	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である	無回答	合計
市民の文化活動に関する情報提供	2.5%	10.2%	63.7%	12.9%	3.8%	6.9%	100.0%
講座などの多様な学習・体験機会の提供	2.3%	9.9%	59.5%	17.6%	3.5%	7.2%	100.0%
文化活動の指導者や研究者の養成	0.6%	3.4%	63.8%	18.7%	4.6%	8.9%	100.0%
質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1.1%	7.0%	51.2%	26.1%	6.8%	7.8%	100.0%
文化施設の整備、既存施設の活用	2.6%	13.5%	51.3%	18.5%	6.0%	8.2%	100.0%
練習・発表・創作等の活動への支援	0.8%	5.1%	64.7%	15.4%	4.9%	9.1%	100.0%
地元の芸術家の堀り起こし・支援	1.0%	4.1%	61.5%	20.2%	4.1%	9.1%	100.0%
市内大学との連携による公演・講座の実施	1.3%	7.1%	61.5%	17.6%	3.6%	9.0%	100.0%
外国籍市民との相互理解の促進	1.3%	3.2%	62.7%	19.6%	3.9%	9.3%	100.0%
文化財保護のためのPRや人材の育成	1.9%	10.9%	60.6%	14.4%	3.4%	8.8%	100.0%
文化財や歴史的遺産の観光への活用	8.6%	25.6%	46.9%	8.4%	2.3%	8.2%	100.0%
民俗芸能の公開や後継者育成の促進	1.0%	9.2%	61.9%	16.0%	3.1%	8.8%	100.0%
子どもが文化に親しむ機会の提供	1.6%	8.8%	52.9%	23.3%	5.3%	8.2%	100.0%

②市の各施策に対する満足度の前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

『市の各施策に対する満足度』については、「満足」と「やや満足」を合わせた比較では、前回より「文化財や歴史的遺産の観光への活用」が 7.1 ポイント減少しています。また、「市民の文化活動に関する情報提供」でも 6.7 ポイントの減少、「文化施設の整備、既存施設の活用」で 6.4 ポイントの減少となっています。全体でも満足度が増加している項目はありませんでした。

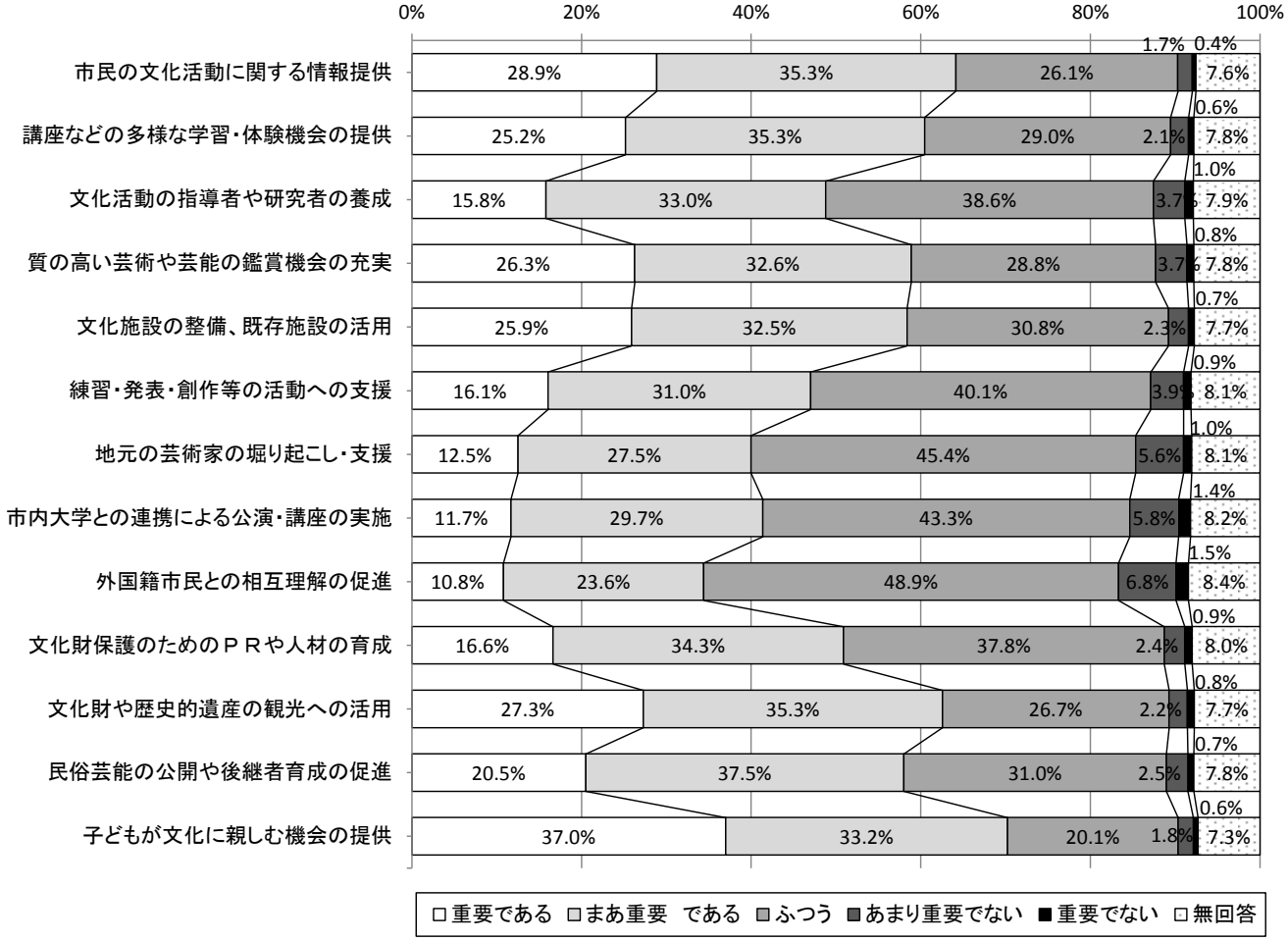
「やや不満」と「不満」を合わせた比較では、前回より「外国籍市民との相互理解の促進」が 4.5 ポイント増加しています。また、「文化活動の指導者や研究者の養成」では 3.3 ポイント減少しています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

（２）①市の各施策の重要度(回答者数＝1,576)【問 26：それぞれ項目１つに○】

重要度については、「重要である」、「まあ重要である」を合わせると「子どもが文化に親しむ機会の提供」が 70.2%と最も多く、一方「重要でない」「あまり重要でない」を合わせると「外国籍市民との相互理解の促進」が 8.3%となっています。



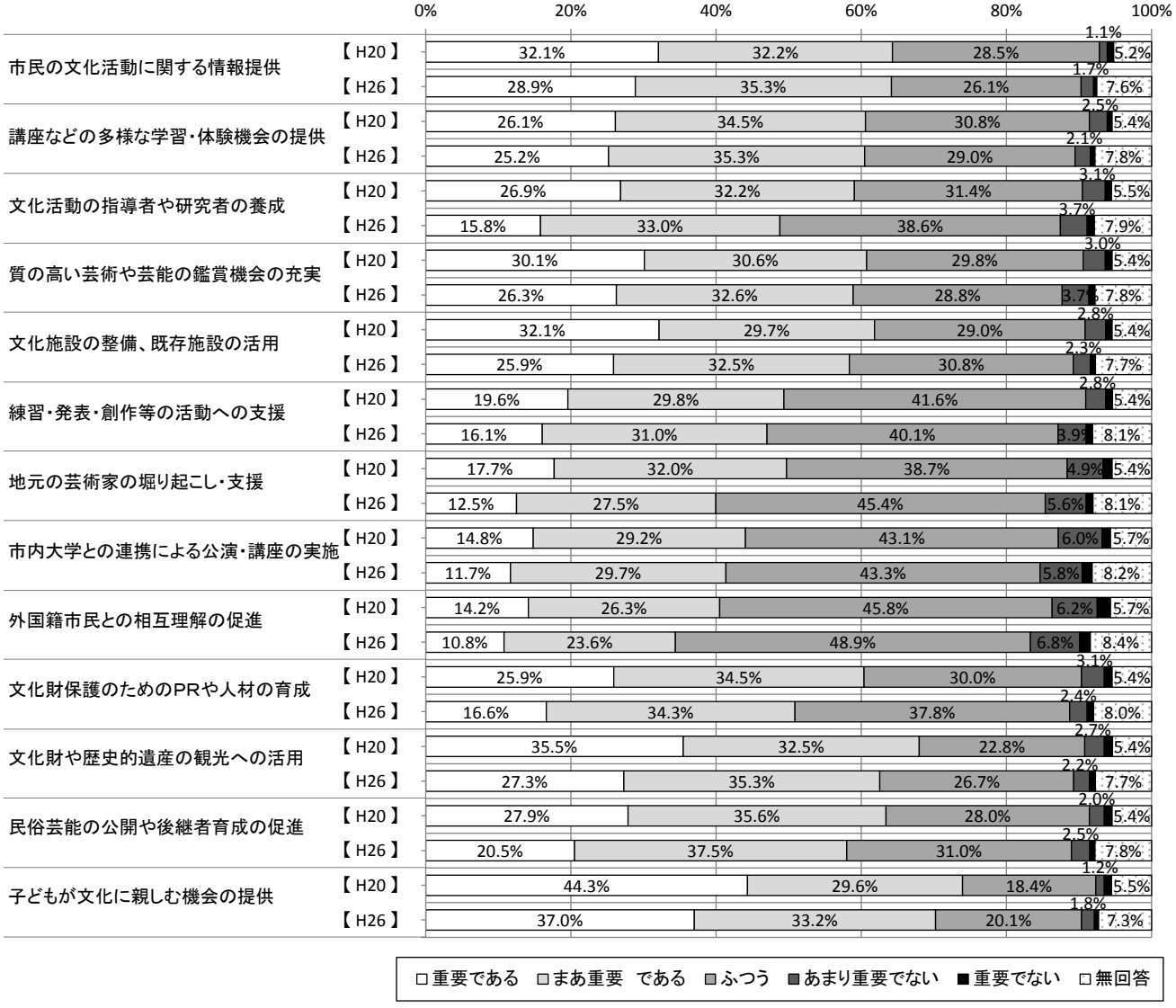
項目	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
市民の文化活動に関する情報提供	455	556	412	27	7	119	1,576
講座などの多様な学習・体験機会の提供	397	556	457	33	10	123	1,576
文化活動の指導者や研究者の養成	249	520	609	58	16	124	1,576
質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	414	514	454	58	13	123	1,576
文化施設の整備、既存施設の活用	408	512	486	37	11	122	1,576
練習・発表・創作等の活動への支援	253	488	632	61	14	128	1,576
地元の芸術家の掘り起こし・支援	197	433	715	89	15	127	1,576
市内大学との連携による公演・講座の実施	184	468	682	91	22	129	1,576
外国籍市民との相互理解の促進	170	372	771	107	23	133	1,576
文化財保護のためのPRや人材の育成	262	540	596	38	14	126	1,576
文化財や歴史的遺産の観光への活用	430	556	421	34	13	122	1,576
民俗芸能の公開や後継者育成の促進	323	591	488	40	11	123	1,576
子どもが文化に親しむ機会の提供	583	524	317	28	9	115	1,576

項目（構成比）	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
市民の文化活動に関する情報提供	28.9%	35.3%	26.1%	1.7%	0.4%	7.6%	100.0%
講座などの多様な学習・体験機会の提供	25.2%	35.3%	29.0%	2.1%	0.6%	7.8%	100.0%
文化活動の指導者や研究者の養成	15.8%	33.0%	38.6%	3.7%	1.0%	7.9%	100.0%
質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	26.3%	32.6%	28.8%	3.7%	0.8%	7.8%	100.0%
文化施設の整備、既存施設の活用	25.9%	32.5%	30.8%	2.3%	0.7%	7.7%	100.0%
練習・発表・創作等の活動への支援	16.1%	31.0%	40.1%	3.9%	0.9%	8.1%	100.0%
地元の芸術家の掘り起こし・支援	12.5%	27.5%	45.4%	5.6%	1.0%	8.1%	100.0%
市内大学との連携による公演・講座の実施	11.7%	29.7%	43.3%	5.8%	1.4%	8.2%	100.0%
外国籍市民との相互理解の促進	10.8%	23.6%	48.9%	6.8%	1.5%	8.4%	100.0%
文化財保護のためのPRや人材の育成	16.6%	34.3%	37.8%	2.4%	0.9%	8.0%	100.0%
文化財や歴史的遺産の観光への活用	27.3%	35.3%	26.7%	2.2%	0.8%	7.7%	100.0%
民俗芸能の公開や後継者育成の促進	20.5%	37.5%	31.0%	2.5%	0.7%	7.8%	100.0%
子どもが文化に親しむ機会の提供	37.0%	33.2%	20.1%	1.8%	0.6%	7.3%	100.0%

②市の各施策の重要度の前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

『市の各施策に対する重要度』については、「重要」と「まあ重要」を合わせた比較では、前回より「文化活動の指導者や研究者の養成」が 10.3 ポイント減少しています。また、「地元の芸術家の掘り起こし・支援」でも 9.7 ポイントの減少、「文化財保護のための PR や人材の育成」で 9.5 ポイントの減少となっています。全体でも重要度が増加している項目はありませんでした。

「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた比較では、1 ポイント前後の増減であまり差のない回答となっています。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

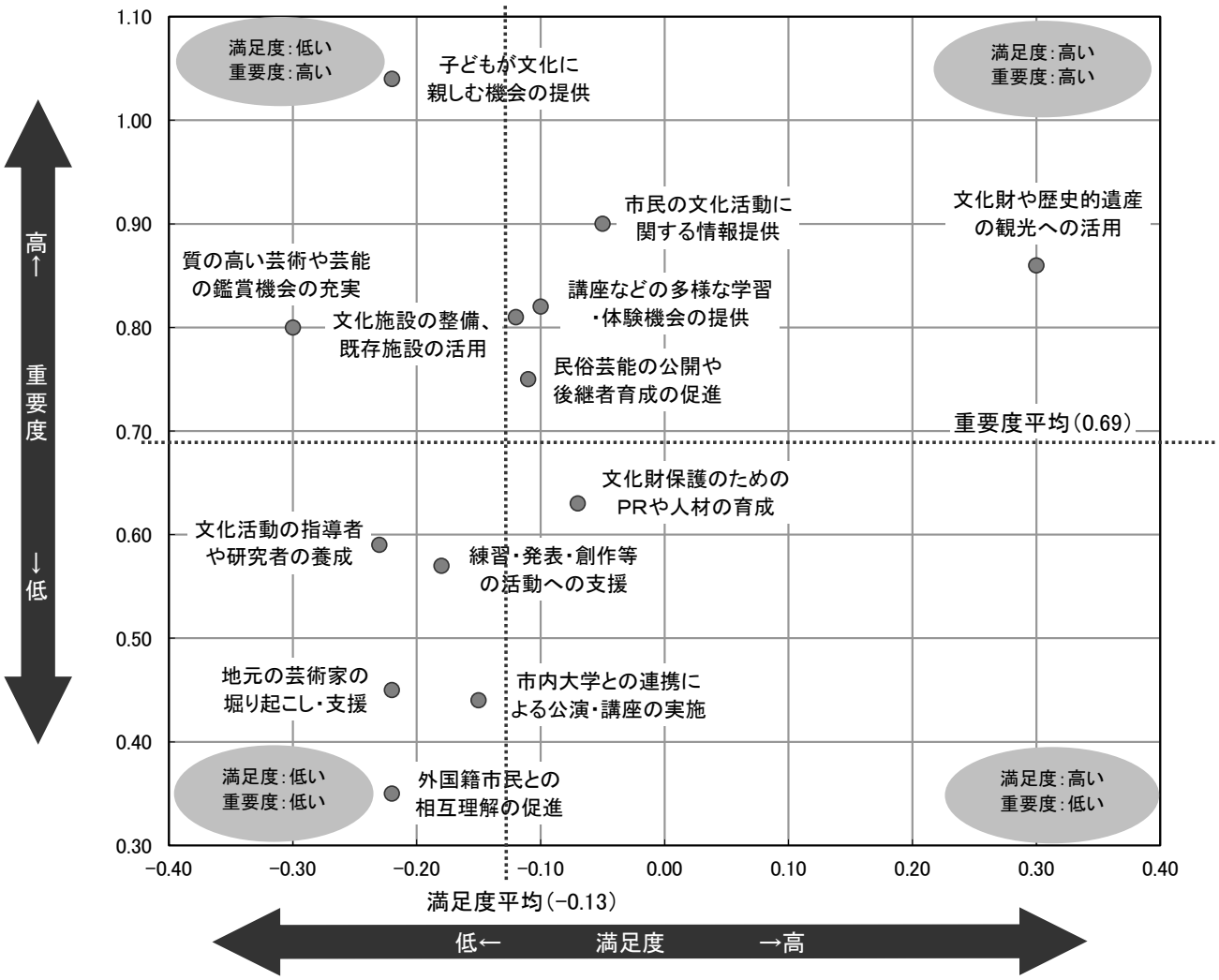
（３）重要度と満足度の度数分布図【問 25、問 26】

（２)の重要度を縦軸、(1)の満足度を横軸として、各施策の重要度、満足度を度数換算※して分布図をつくると下表のとおりとなりました。(上にいくほど重要度が高く、右に行くほど満足度が高い)

軸は平均値を表す　(満足度【－0.13】　重要度【0.69】)

「文化財や歴史的遺産の観光への活用」は重要度・満足度ともに高い一方で、「子どもが文化に親しむ機会の提供」については重要度が最も高いのに対して満足度が低くなっています。また、「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」も、重要度は、平均値より高いですが満足度は最も低くなっています。

さらに「講座などの多様な学習・体験機会の提供」、「文化施設の整備、既存施設の活用」、「民俗芸能の公開や後継者育成の促進」の項目では、重要度が平均値より高く、満足度は僅かにですが平均値より高くなっています。



※度数換算の方法

回答	配点
「満足」「重要」	2 点
「やや満足」「まあ重要」	1 点
「ふつう」	0 点
「やや不満」「あまり重要でない」	－1 点
「不満」「重要でない」	－2 点

例えば、下記のような回答になった場合の度数は、

満足：3 名、やや満足：5 名、ふつう：10 名、やや不満：4 名、不満 1 名(合計 23

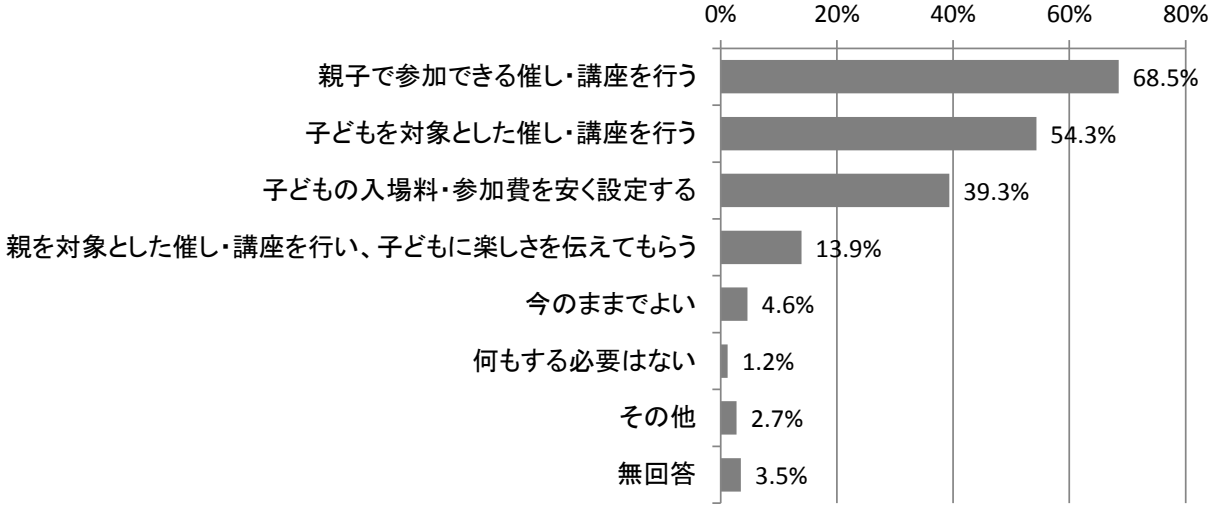
⇒{(3 名×2 点)＋(5 名×1 点)＋(10 名×0 点)＋(4 名×－1 点)＋(1 名×－2 点)}÷23 名

＝(6＋5＋0－4－2)÷23＝0.21739……⇒　度数は約 0.22

項　目	満足度数 平均値 （無回答を除く）	重要度数 平均値 （無回答を除く）
市民の文化活動に関する情報提供	−0.05	0.90
講座などの多様な学習・体験機会の提供	−0.10	0.82
文化活動の指導者や研究者の養成	−0.23	0.59
質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	−0.30	0.80
文化施設の整備、既存施設の活用	−0.12	0.81
練習・発表・創作等の活動への支援	−0.18	0.57
地元の芸術家の堀り起こし・支援	−0.22	0.45
市内大学との連携による公演・講座の実施	−0.15	0.44
外国籍市民との相互理解の促進	−0.22	0.35
文化財保護のためのPRや人材の育成	−0.07	0.63
文化財や歴史的遺産の観光への活用	0.30	0.86
民俗芸能の公開や後継者育成の促進	−0.11	0.75
子どもが文化に親しむ機会の提供	−0.22	1.04
全体平均	−0.13	0.69

（4）子どもが文化に親しむために市が行うべき施策（回答者数＝1,576）【問 27：2 つに○】

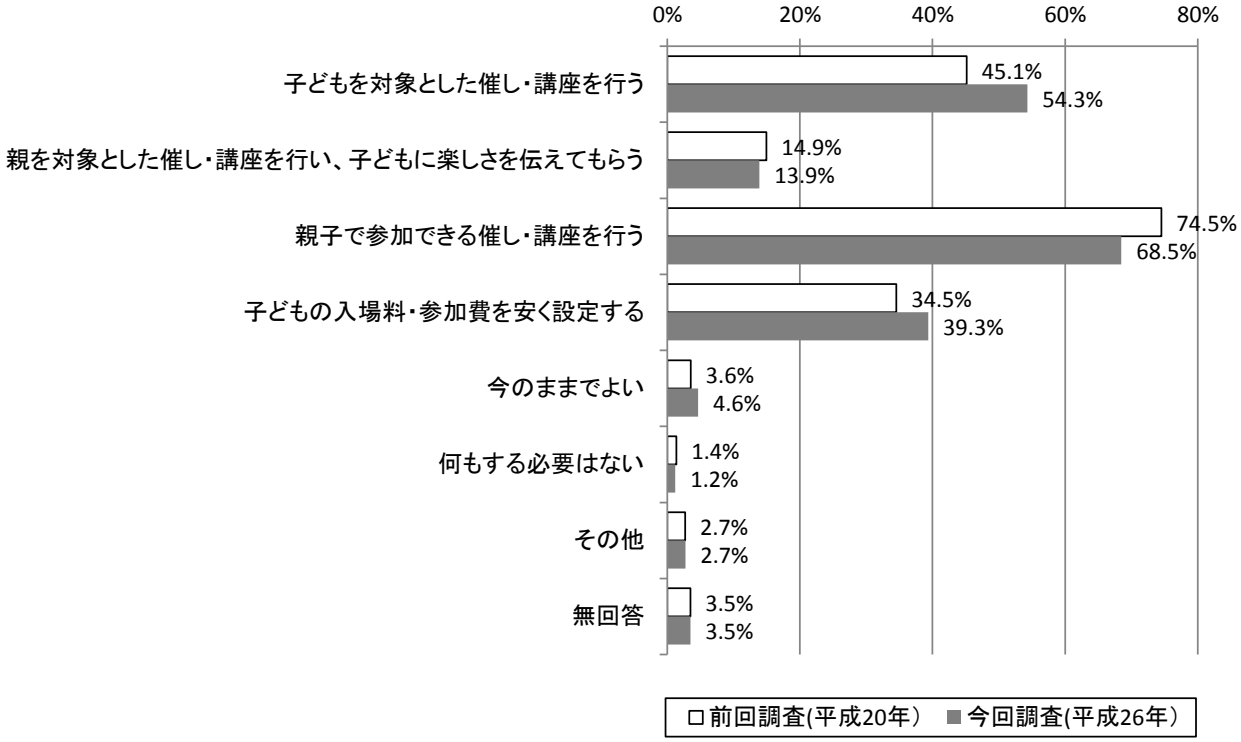
『子どもが文化に親しむ機会の提供』では、「親子で参加できる催し・講座を行う」という回答が 68.5%と最も多く、次いで「子どもを対象とした催し・講座を行う」が 54.3%、「子どもの入場料・参加費を安く設定する」が 39.3%となっています。



項目	度数	構成比
親子で参加できる催し・講座を行う	1,079	68.5%
子どもを対象とした催し・講座を行う	856	54.3%
子どもの入場料・参加費を安く設定する	620	39.3%
親を対象とした催し・講座を行い、子どもに楽しさを伝えてもらう	219	13.9%
今のままでよい	73	4.6%
何もする必要はない	19	1.2%
その他	43	2.7%
無回答	55	3.5%
回答者数	1,576	

2）子どもが文化に親しむために市が行うべき施策についての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

『子どもが文化に親しむ機会の提供』については、前回より「子どもを対象として催し・講座を行う」で 9.2 ポイントの増加、「子どもの入場料・参加費を安く設定する」で 4.8 ポイント増加しています。また、「親子で参加できる催し・講座を行う」では、6.0 ポイントの減少が見られます。

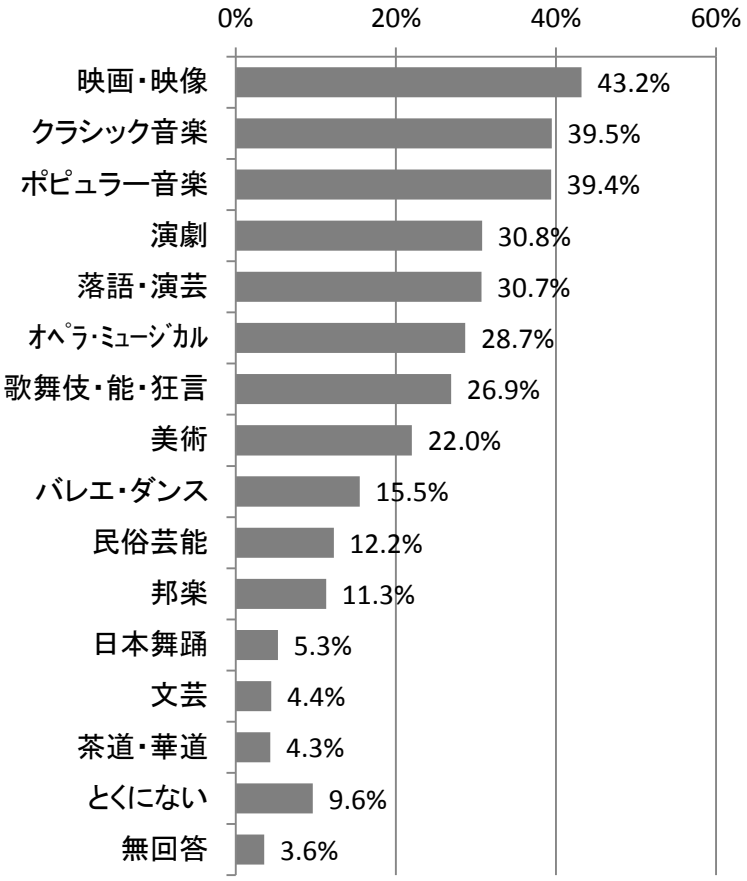


※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

（５）「川越市文化芸術振興施設（新ホール）」で鑑賞してみたい事業（回答者数＝1,576）

【問 28：○はいくつでも】

「映画・映像」という回答が 43.2%と最も多く、次いで「クラシック音楽」が 39.5%、「ポピュラー音楽」が 39.4%、「演劇」が 30.8%、「落語・演芸」が 30.7%といずれも 3 割以上となっています。

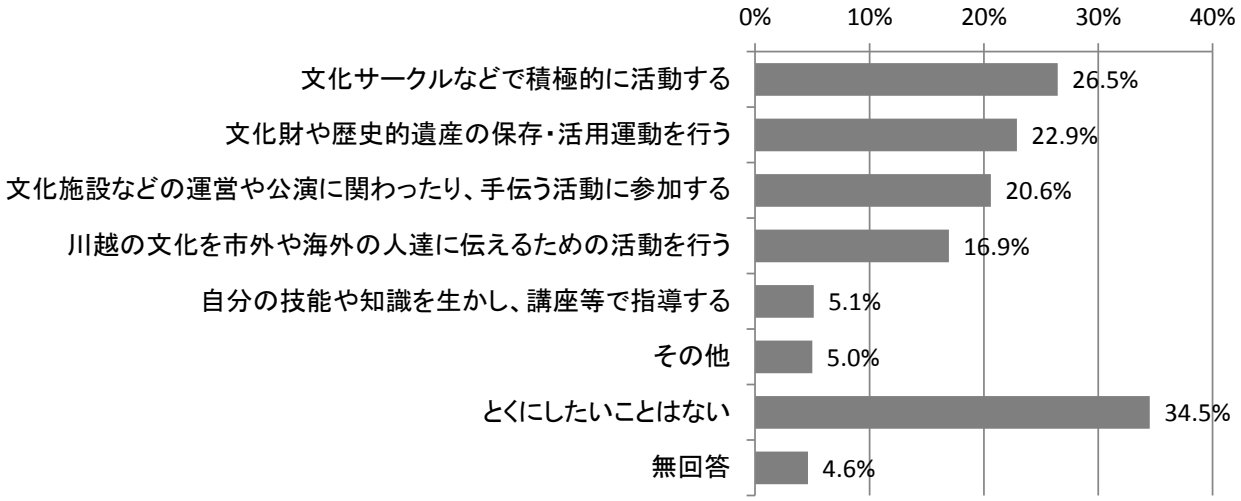


項目	度数	構成比
映画・映像	681	43.2%
クラシック音楽	622	39.5%
ポピュラー音楽	621	39.4%
演劇	485	30.8%
落語・演芸	484	30.7%
ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	452	28.7%
歌舞伎・能・狂言	424	26.9%
美術	347	22.0%
バレエ・ダンス	244	15.5%
民俗芸能	193	12.2%
邦楽	178	11.3%
日本舞踊	83	5.3%
文芸	70	4.4%
茶道・華道	68	4.3%
とくにない	152	9.6%
無回答	56	3.6%
回答者数	1,576	

４．今後の自らの文化活動に関する意識

（１）文化に親しむために行いたい活動（回答者数＝1,576）【問 29：１つに○】

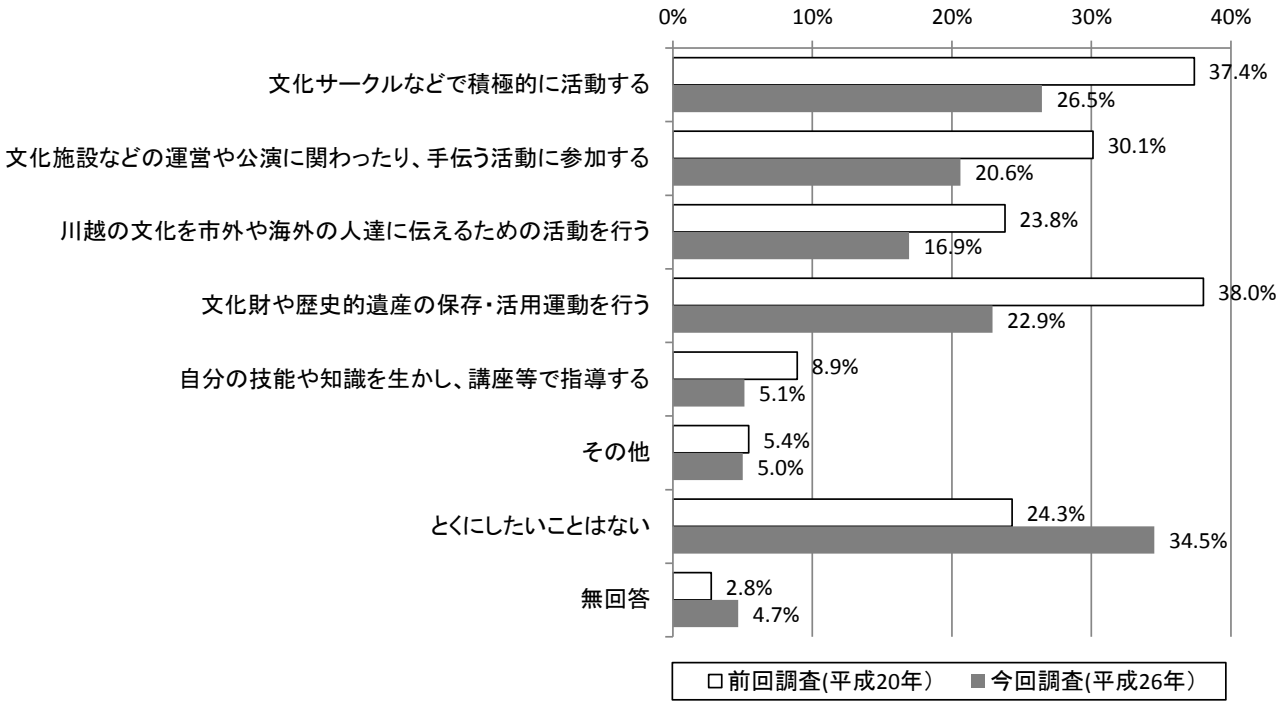
今後、文化に親しむために行いたい活動について尋ねたところ、「文化サークルなどで積極的に活動する」が 26.5%、「文化財や歴史的遺産の保存・活用運動を行う」が 22.9%となっていますが、「とくにしたいことはない」という回答が 34.5%と最も多くなっています。



項目	度数	構成比
文化サークルなどで積極的に活動する	417	26.5%
文化財や歴史的遺産の保存・活用運動を行う	361	22.9%
文化施設などの運営や公演に関わったり、手伝う活動に参加する	325	20.6%
川越の文化を市外や海外の人達に伝えるための活動を行う	267	16.9%
自分の技能や知識を生かし、講座等で指導する	81	5.1%
その他	79	5.0%
とくにしたいことはない	544	34.5%
無回答	73	4.6%
回答者数	1,576	

２）文化に親しむために行いたい活動についての前回比較（前回調査回答者数＝1,378）

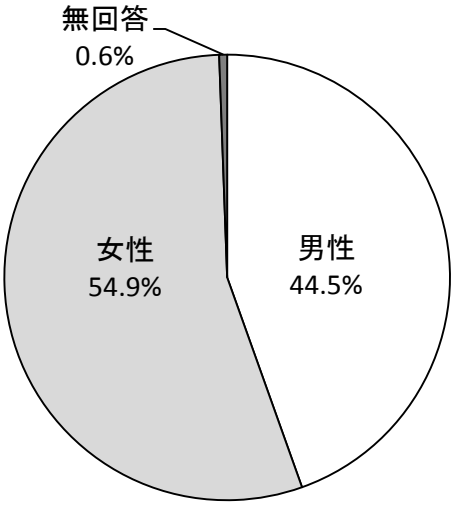
『文化に親しむために行いたい活動』については、「文化財や歴史的遺産の保存・活用運動を行う」で 15.1 ポイントの減少、「文化サークルなどで積極的に活動する」で 10.9 ポイントの減少となっており、また、「とくにしたいことはない」では、10.2 ポイントの増加が見られます。



※「平成 20 年 川越市文化芸術に関する市民アンケート調査結果報告書」より（無回答を含む）

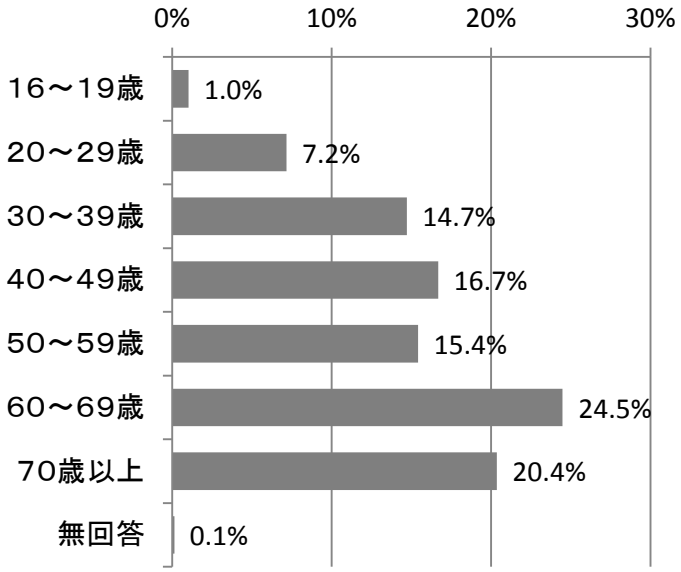
５．回答者の属性

（１）性別　（回答者数＝1,576）【問１：１つに○】



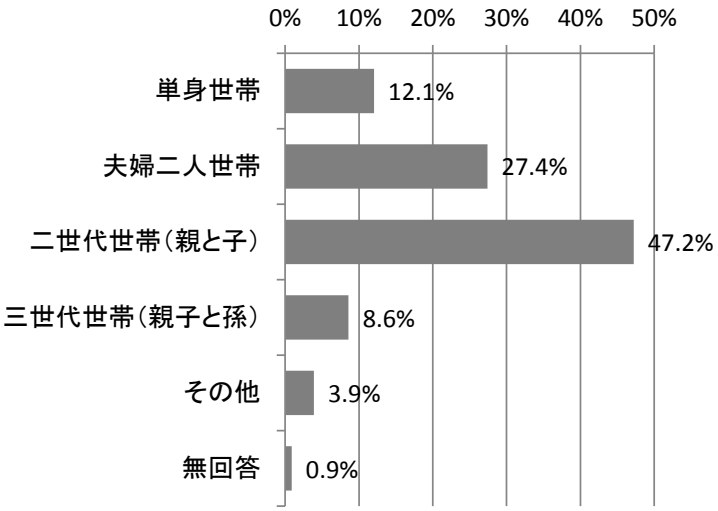
項目	度数	構成比
男性	702	44.5%
女性	865	54.9%
無回答	9	0.6%
回答者数	1,576	100.0%

（２）満年齢　（回答者数＝1,576）【問２：１つに○】



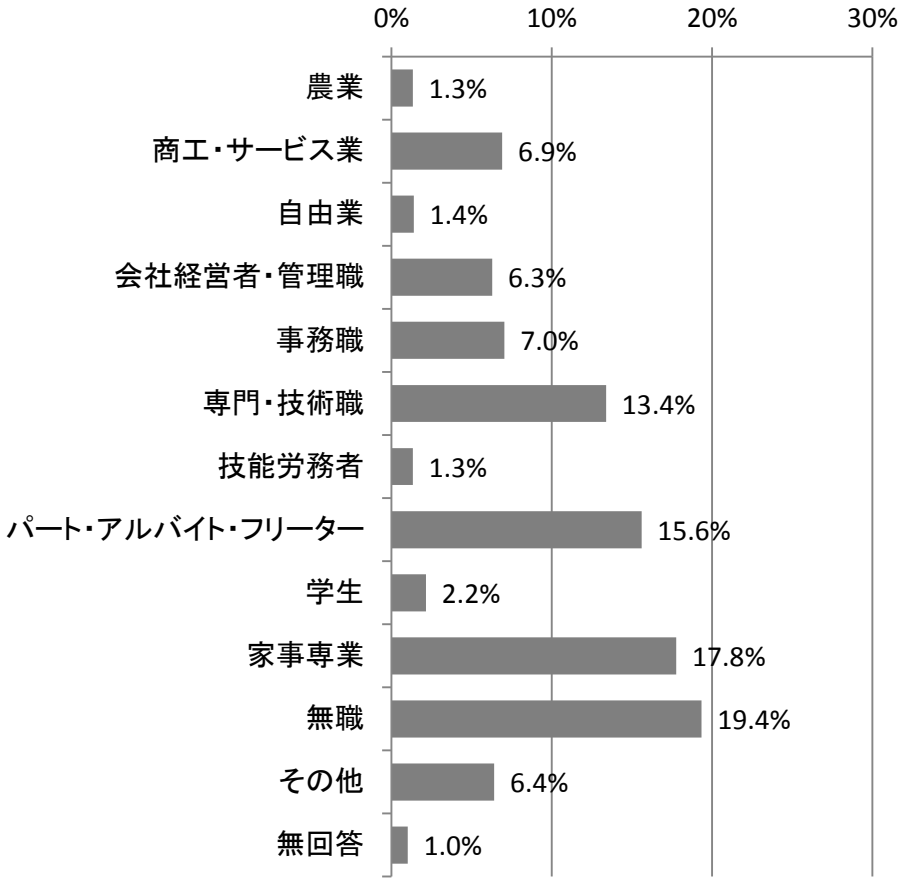
項目	度数	構成比
16～19歳	16	1.0%
20～29歳	113	7.2%
30～39歳	232	14.7%
40～49歳	263	16.7%
50～59歳	243	15.4%
60～69歳	386	24.5%
70歳以上	321	20.4%
無回答	2	0.1%
回答者数	1,576	100.0%

（３）家族構成（回答者数＝1,576）【問３：１つに○】



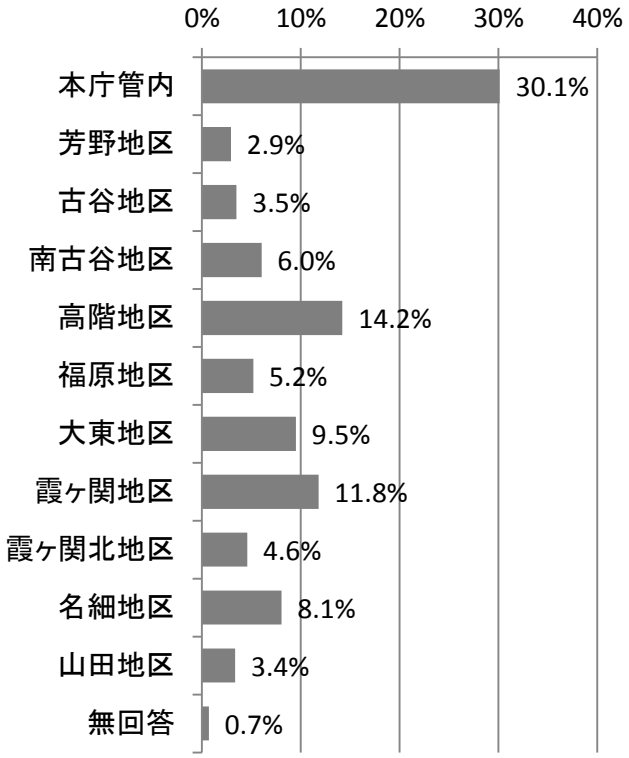
項目	度数	構成比
単身世帯	190	12.1%
夫婦二人世帯	432	27.4%
二世代世帯（親と子）	744	47.2%
三世代世帯（親子と孫）	135	8.6%
その他	61	3.9%
無回答	14	0.9%
回答者数	1,576	100.0%

（４）職業（回答者数＝1,576）【問４：主な収入源１つに○】



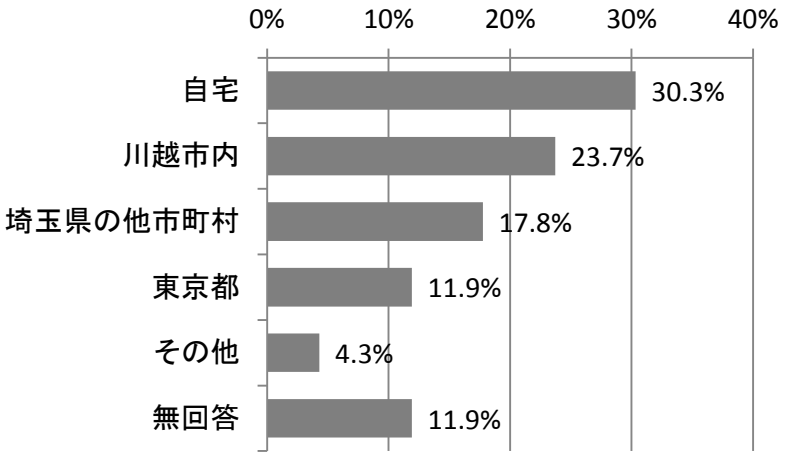
項目	度数	構成比
農業	21	1.3%
商工・サービス業（自営業、家族従事者）	109	6.9%
自由業（医師、弁護士、税理士、芸術家など）	22	1.4%
会社経営者・管理職（会社、団体等の課長職以上）	99	6.3%
事務職	111	7.0%
専門・技術職	211	13.4%
技能労務者	21	1.3%
非正規社員（パート・アルバイト・フリーター）	246	15.6%
学生	34	2.2%
家事専業	280	17.8%
無職	305	19.4%
その他	101	6.4%
無回答	16	1.0%
回答者数	1,576	100.0%

（５）居住地域（回答者数＝1,576）【問５：１つに○】



項目	度数	構成比
本庁管内	475	30.1%
芳野地区	46	2.9%
古谷地区	55	3.5%
南古谷地区	95	6.0%
高階地区	224	14.2%
福原地区	82	5.2%
大東地区	150	9.5%
霞ヶ関地区	186	11.8%
霞ヶ関北地区	72	4.6%
名細地区	127	8.1%
山田地区	53	3.4%
無回答	11	0.7%
回答者数	1,576	100.0%

（６）通勤・通学先（回答者数＝1,576）【問６：１つに○】



項目	度数	構成比
自宅（農業、自営業、家事専業、無職など）	478	30.3%
川越市内（自宅以外）	374	23.7%
埼玉県の他市町村	280	17.8%
東京都	188	11.9%
その他	68	4.3%
無回答	188	11.9%
回答者数	1,576	100.0%

Ⅲ資料

調査票

文化芸術に関する市民アンケート

アンケート調査ご協力のお願い

日頃皆様には、本市の文化芸術の発展のためにご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、川越市では、７月中旬から７月下旬にかけて、文化芸術に関する市民アンケートを行います。

この調査は、市民の皆様の文化活動の状況と「文化」に対する考え方、文化を活発にするための市の取り組み、文化活動に対する関心についてご意見を伺い、今後の文化芸術における施策を進める上での貴重な資料として活用させていただくために行うもので、住民基本台帳に登録されている１６歳以上の市民の方から、３，０００人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年７月

川越市長　川合　善明

◎調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、回答いただきました個人のお考えが公表されることは一切ございませんので、ありのままお答えください。

ご記入にあたってのお願い

１．対象となったご本人がお答えください。
２．ご記入は、黒ボールペンまたは濃い鉛筆でご記入ください。
３．回答は最初から１問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によってはお答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
４．お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
５．質問によって○をつける数を「２つに○」「○はいくつでも」などと指定しておりますので、その範囲以内でお答えください。
６．「その他」にあてはまる場合で、（　）がある場合は、（　）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。

ご記入が終わりましたら・・・

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて**７月 31 日（木）**までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

【お問い合わせ先】 川越市役所 文化スポーツ部 文化芸術振興課
埼玉県川越市元町１丁目３番地１
☎　（０４９）２２４－６１５７（直通）
FAX　（０４９）２２４－８７１２

A　あなたのことについて教えてください

問１　あなたの性別についておたずねします。（１つに○）

１．男性	２．女性

問２　あなたの満年齢についておたずねします。（１つに○）

１．１６～１９歳	２．２０～２９歳	３．３０～３９歳
４．４０～４９歳	５．５０～５９歳	６．６０～６９歳
７．７０歳以上		

問３　あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。（１つに○）

１．単身世帯	２．夫婦二人世帯	３．二世代世帯（親と子）
４．三世代世帯（親子と孫）	５．その他	

問４　あなたのご職業は、この中のどれにあたりますか。（主な収入源１つに○）

１．農業
２．商工・サービス業（自営業、家族従事者）
３．自由業（医師、弁護士、税理士、芸術家など）
４．会社経営者・管理職（会社、団体等の課長職以上）
５．事務職
６．専門・技術職
７．技能労務者
８．非正規社員（パート・アルバイト・派遣社員）
９．学生
10．家事専業
11．無職
12．その他

問５　あなたのお住まいはどこですか。お送りした封筒の宛名右上にある名称をご確認の上、選んでください。（１つに○）

１．本庁管内	２．芳野地区	３．古谷地区	４．南古谷地区
５．高階地区	６．福原地区	７．大東地区	８．霞ヶ関地区
９．霞ヶ関北地区	10．名細地区	11．山田地区	

問６　あなたの通勤、通学先はどこですか。（複数ある場合は主な場所１つに○）

１．自宅（農業、自営業、家事専業、無職など）	２．川越市内（自宅以外）	
３．埼玉県の他市町村	４．東京都	５．その他

B あなたの文化活動の状況についておたずねします

問７　あなたは、この１年間で下記の演目に関する公演や展示会等を鑑賞しましたか。（○はいくつでも）

１．クラシック音楽	２．ポピュラー音楽	３．美術	４．演劇
５．ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	６．バレエ・ダンス	７．日本舞踊	
８．歌舞伎・能・狂言	９．邦楽	10．民俗芸能	
11．落語・演芸	12．映画・映像	13．茶道・華道	
14．文芸	15．文化財（博物館やお祭り会館の見学を含む）		
16．鑑賞していない、鑑賞できなかった　⇒問９へ			

※上の用語の詳しい意味、例については「用語説明」をご確認ください。

用語説明

◆演目について

クラシック音楽	管弦楽、吹奏楽、器楽などによる、西洋の芸術音楽
ポピュラー音楽	ジャズ、ロック、ポップス、演歌などの大衆的な音楽
邦楽	琴・三味線・尺八など、日本固有の伝統音楽
民俗芸能	獅子舞、万作、祭囃子、民謡など、各地域で受け継がれる芸能
演芸	漫談、浪曲、お笑い、マジックなどの芸能
文芸	文学、詩、俳句など言語によって表現される芸術
美術	絵画、工芸、写真、書道などの芸術

◆文化財など

文化財	文化財保護法に基づき、国・県・市などにより指定・選定・登録されているもの。たとえば、川越では以下のようなものがあります。 **［有形文化財］** ・大沢家住宅　・喜多院　・時の鐘 **［民俗文化財（有形・無形）］** ・石原のささら獅子舞　・川越氷川祭山車 ・川越氷川祭の山車行事　・川越祭りばやし **［重要伝統的建造物群保存地区］** ・蔵造り一番街を中心とした地区 （正式名：川越市川越伝統的建造物群保存地区） **［登録有形文化財］** ・埼玉りそな銀行川越支店
歴史的遺産	このアンケートでは、文化財保護法に基づく指定を受けていない、まちに長く残されてきた歴史的価値のある資源をいいます。 地元の地域に長く残されている建物、工芸品や民俗芸能、祭礼や習慣までも歴史的遺産に含まれるといわれています。

問８　<u>問７で、１～15 の鑑賞をしたと回答された方</u>におたずねします。どこで最も多く鑑賞しましたか？（１つに○）

１．川越市内	２．川越市外（　　市・区）

問９　問７で、『16. 鑑賞していない、鑑賞できなかった』と回答した方は、最も大きな理由１つに○をつけてください。

１．興味がない
２．興味はあるが時間がとれない
３．近くで観たい催し物をやっていない
４．どこでどんな催し物をやっているのかわからない
５．入場料・交通費などの費用がかかりすぎる

問 10　あなたは、この１年間に下記の演目に関して、自ら活動した（演じる、作品を創る、習う）ものはありますか。（○はいくつでも）

１．クラシック音楽	２．ポピュラー音楽	３．美術	４．演劇
５．ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	６．バレエ・ダンス	７．日本舞踊	
８．歌舞伎・能・狂言	９．邦楽	10．民俗芸能	
11．落語・演芸	12．映画・映像	13．茶道・華道	
14．文芸	15．自ら活動していない、活動できなかった	⇒問 12 へ	

問 11　問 10 で、１～14 の活動をしたと回答された方におたずねします。どこで最も多く活動しましたか？（１つに○）

１．川越市内	２．川越市外（　　市・区）

問 12　問 10 で、『15. 自ら活動していない、活動できなかった』と回答された方におたずねします。自ら活動しなかった方は、最も大きな理由１つに○をつけてください。

１．興味がない	２．時間がない	３．近くに活動の場所がない
４．市民が参加できる催しがない	５．一緒に活動する仲間がいない	
６．いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない		
７．参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる		

問 13　今後、下記の演目の中で、自ら活動したいと思うものはありますか。（○はいくつでも）

１．クラシック音楽	２．ポピュラー音楽	３．美術
４．演劇	５．ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	６．バレエ・ダンス
７．日本舞踊	８．歌舞伎・能・狂言	９．邦楽
10．民俗芸能	11．落語・演芸	12．映画・映像
13．茶道・華道	14．文芸	15．とくにない

問 14　あなたは、この１年間に、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加したことはありますか。（お祭り、獅子舞などの伝統行事や、博物館の講座などへの参加も含みます。）（１つに○）

１．主に川越市内で参加したことがある
２．主に川越市外で参加したことがある（　　市・区）
３．参加していない、参加できなかった　⇒問 15 へ

問 15　問 14 で、『３．参加していない、参加できなかった』と回答された方におたずねします。参加しなかった方は、最も大きな理由１つに○をつけてください。

１．興味がない	２．時間がない
３．近くに活動の場所がない	４．どうすれば参加できるか情報がなく、わからない
５．参加費、交通費などの費用がかかりすぎる	

問 16　今後文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加してみたいと思いますか。
（１つに○）

１．参加してみたい	２．参加したくない	３．どちらでもない

C　あなたが「文化」に対してどう思っているかおたずねします

問 17　「文化」という言葉に対して、どのようなイメージをお持ちですか。（○はいくつでも）

１．音楽、美術などの芸術	２．伝統的なお祭、行事、芸能
３．文化財・歴史的遺産の保存・活用	４．他の都市や海外の人達との交流
５．生活の中から生まれた知恵や工夫	６．新しい価値観の創造
７．学問や教育	８．科学技術
９．その他（　　）	10．わからない

問 18　「川越の文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強くお持ちですか。（２つに○）

１．音楽、美術などの芸術	２．伝統的なお祭、行事、芸能
３．文化財・歴史的遺産の保存・活用	４．他の都市や海外の人達との交流
５．生活の中から生まれた知恵や工夫	６．新しい価値観の創造
７．学問や教育	８．科学技術
９．その他（　　）	10．わからない

問 19　あなたは、日常生活の中で、優れた芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行うことが大切だと思いますか。（１つに○）

１．非常に大切だ	２．ある程度大切だ
３．どちらでもない	４．あまり大切ではない
５．まったく大切ではない	

問 20　舞台公演等を催す場合にボランティアスタッフを募集する場合があります。どのような内容であれば参加しますか。（○はいくつでも）

１．催しものの企画	２．舞台設営	３．チケットのもぎり
４．パンフレット渡し	５．客席案内	６．チラシの挟み込み
７．場内アナウンス	８．出演者への接遇	９．施設案内
10．清掃	11．駐車場整理	12．その他（　　）
13．わからない	14．参加したくない	

問 21　制作体験型事業についてどのようなイメージをお持ちですか。（○はいくつでも）

１．学校での文化芸術体験の実施	２．地域のお祭りや行事への参加
３．公演事業や芸術家派遣事業の推進	４．演劇学校や子ども演劇教室の開催
５．音楽祭や演劇大会の実施	６．舞台技術者等の技術習得
７．その他（　　）	
８．わからない	

問 22　あなたは、芸術家や文化に関わる人などを育てたり、支援するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

１．子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会の提供
２．文化活動に参加する市民ボランティアの育成と参加機会の提供
３．コンクールや奨励的な賞の充実
４．小・中学校等における教育の充実
５．文化活動を行っている団体等の発表の機会や練習場所の充実
６．文化芸術分野で活躍する著名人の協力
７．大学などの教育機関との協力
８．特に支援する必要はない
９．わからない
10．その他（　　）

問 23　市では市内芸術家等への支援を検討していますが、この支援制度についてどのようにお考えですか。（１つに○）

１．必要である　⇒問 24 へ	２．わからない	３．必要でない

問 24　<u>問 23 で『１．必要である』と回答した方</u>にお伺いします。どのような内容を必要と考えますか。（○はいくつでも）

１．経済的支援	２．活動施設等の優先的提供
３．広報等による PR の支援	４．活動機会の積極的開催
５．後継者育成への支援	６．文化芸術の振興に寄与した方等の表彰
７．その他（　　）	８．わからない

D 文化を活発にするための、市の取り組みについておたずねします

問 25　あなたは、次の各項目の市の取り組みについてどう思いますか。（それぞれの項目１つに○）

		満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
a	市民の文化活動に関する情報提供	1	2	3	4	5
b	講座などの多様な学習・体験機会の提供	1	2	3	4	5
c	文化活動の指導者や研究者の養成	1	2	3	4	5
d	質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1	2	3	4	5
e	文化施設の整備、既存施設の活用	1	2	3	4	5
f	練習・発表・創作等の活動への支援	1	2	3	4	5
g	地元の芸術家の掘り起こし・支援	1	2	3	4	5
h	市内大学との連携による公演・講座の実施	1	2	3	4	5
i	外国籍市民との相互理解の促進	1	2	3	4	5
j	文化財保護のためのＰＲや人材の育成	1	2	3	4	5
k	文化財や歴史的遺産の観光への活用	1	2	3	4	5
l	民俗芸能の公開や後継者育成の促進	1	2	3	4	5
m	子どもが文化に親しむ機会の提供	1	2	3	4	5

用語説明

◆問 25、26：取り組みの内容

市民の文化活動に関する情報提供	市内の団体・サークルや施設、催し物などの情報をまとめ、調べやすく提供すること

問 26　あなたは、文化活動をもっと活発にするために、次の各項目の市の取り組みについて、どれくらい重要だと思いますか。（それぞれの項目１つに○）

		重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
a	市民の文化活動に関する情報提供	1	2	3	4	5
b	講座などの多様な学習・体験機会の提供	1	2	3	4	5
c	文化活動の指導者や研究者の養成	1	2	3	4	5
d	質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1	2	3	4	5
e	文化施設の整備、既存施設の活用	1	2	3	4	5
f	練習・発表・創作等の活動への支援	1	2	3	4	5
g	地元の芸術家の掘り起こし・支援	1	2	3	4	5
h	市内大学との連携による公演・講座の実施	1	2	3	4	5
i	外国籍市民との相互理解の促進	1	2	3	4	5
j	文化財保護のためのＰＲや人材の育成	1	2	3	4	5
k	文化財や歴史的遺産の観光への活用	1	2	3	4	5
l	民俗芸能の公開や後継者育成の促進	1	2	3	4	5
m	子どもが文化に親しむ機会の提供	1	2	3	4	5

問 27　子どもが文化に親しむために、市はどのようなことをするべきだと思いますか。（２つに○）

１．子どもを対象とした催し・講座を行う
２．親を対象とした催し・講座を行い、子どもに楽しさを伝えてもらう
３．親子で参加できる催し・講座を行う
４．子どもの入場料・参加費を安く設定する
５．今のままでよい
６．何もする必要はない
７．その他（　　）

問 28　「ウェスタ川越」内に設置される、「川越市文化芸術振興施設（新ホール）」において、どのような事業があれば鑑賞してみたいと思いますか。（○はいくつでも）

1．クラシック音楽	2．ポピュラー音楽	3．美術
4．演劇	5．ｵﾍﾟﾗ･ﾐｭｰｼﾞｶﾙ	6．バレエ・ダンス
7．日本舞踊	8．歌舞伎・能・狂言	9．邦楽
10．民俗芸能	11．落語・演芸	12．映画・映像
13．茶道・華道	14．文芸	15．とくにない

用語説明

◆問 28：取り組みの内容

ウェスタ川越	平成 27 年春に川越駅西口にオープンする西部地域振興ふれあい拠点の街区愛称。多目的ホールやパスポートセンターなど県の施設、1,712 席あるホールや市民活動・生涯学習施設など市の施設、スーパーやカフェなどの民間にぎわい施設（ウニクス川越）が入る予定。

E　最後に、あなたのお気持ちをお聞かせください

問 29　文化に親しむためにどのような方法で文化活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）

1．文化サークルなどで積極的に活動する
2．文化施設などの運営や公演に関わったり、手伝う活動に参加する
3．川越の文化を市外や海外の人達に伝えるための活動を行う
4．文化財や歴史的遺産の保存・活用運動を行う
5．自分の技能や知識を生かし、講座等で指導する
6．その他（　　）
7．とくにしたいことはない

用語説明

◆問 29：取り組みの内容

文化サークル	音楽、演劇、舞踊、芸能、美術などの活動を行う団体
文化施設などの運営や公演に関わったり、手伝う活動	主催事業への意見・提案、公演当日の会場案内など、文化施設のよりよい運営に必要なことを、施設の職員と一緒に行う活動を指します。

◆最後に、川越市の文化や芸術に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。◆

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

文化芸術振興に関する意識調査結果報告書

【平成 26 年 10 月】

発行：川越市

編集：川越市　文化スポーツ部　文化芸術振興課

〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1

Tel：049-224-8811(代表)

市ホームページ：http://www.city.kawagoe.saitama.jp/